

秀外書齋

150	一	一七三九	和書門類
22	一	二九一	類
一	二架	一	
二	冊		

五	一七三九	和書類
函	一	
二架	二冊	
	一號	

內閣文庫	
番號	和 17391
冊數	12 (12)
函號	154 19

武器圖說

雜類

十二終



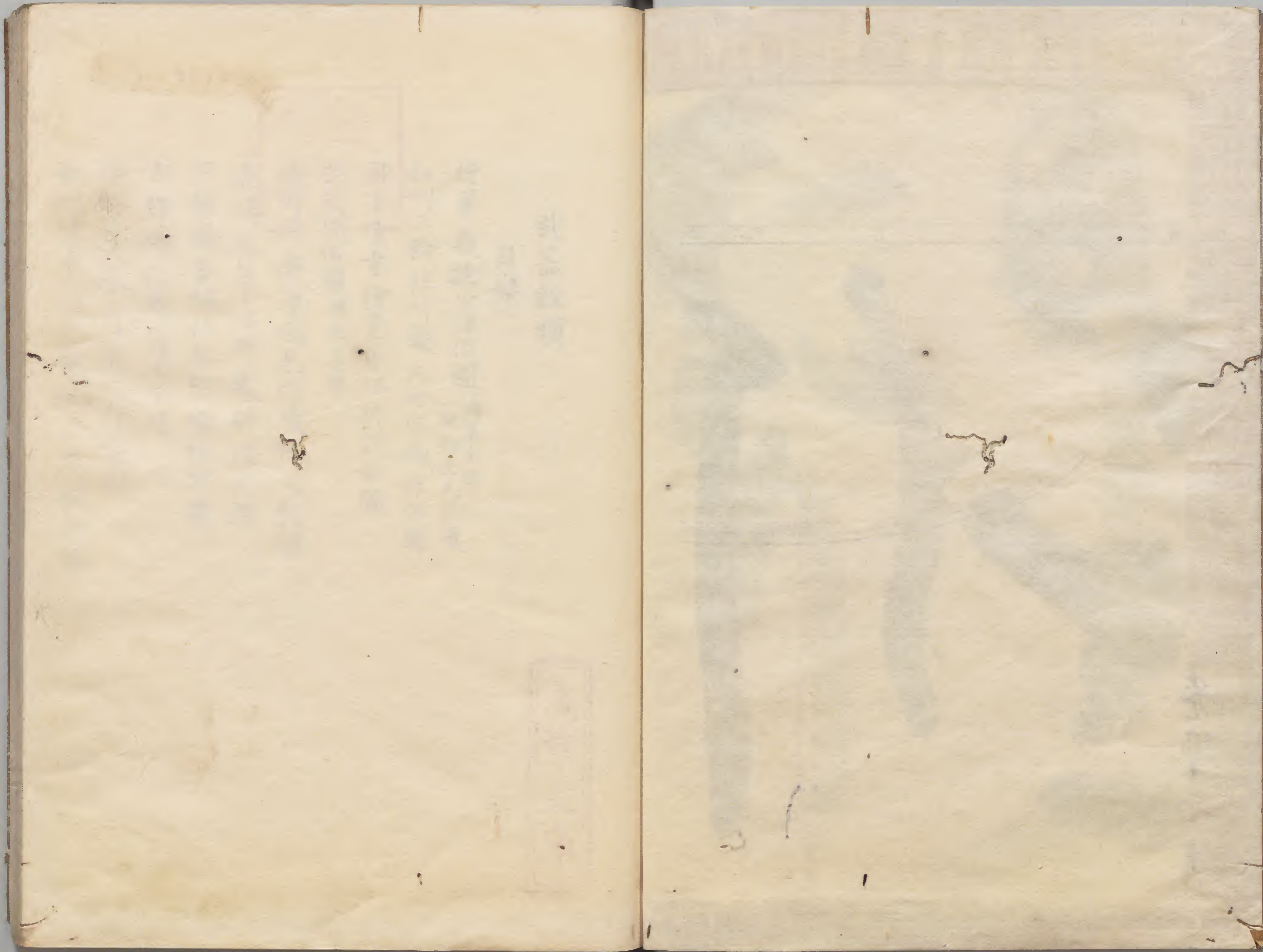
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak





武器雜類

目錄

將軍義詮公保侶圖

傳來未詳

和州三輪社所藏大塔宮御保侶圖

周法隆寺繪堂保侶掛武者圖

古矢保侶圖

傳來未詳

攝州須磨浦現光所藏博太鼓圖

鹿嶋正等寺所藏驛路鈴圖

下総國吾嬬社神宝驛路鈴圖

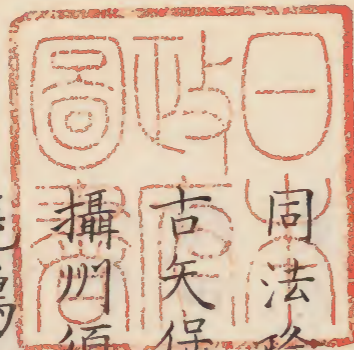
古驛路鈴圖

傳來未詳

伊勢貞春所藏火打袋圖

和州信貴山所藏楠正成鉄楯圖

淺草文庫



太奈廣隆寺所藏上宮太子團扇圖

常州筑波社所藏小田成治團扇圖

同福壽院所藏團扇圖

長崎勘解由左衛門尉陣羽織圖 傳來未詳

日根備中守治部卿法印陣羽織圖 傳來未詳

伊勢社人所藏九鬼氏船手陣羽織圖

織田信孝袋圖 傳來未詳

東大寺所藏綾藺笠圖

古折烏帽子圖 傳來未詳

古折烏帽子圖別式 傳來未詳

梨子打烏帽子圖 伊勢貞春傳來形

引立烏帽子圖 同斷

京極折烏帽子圖

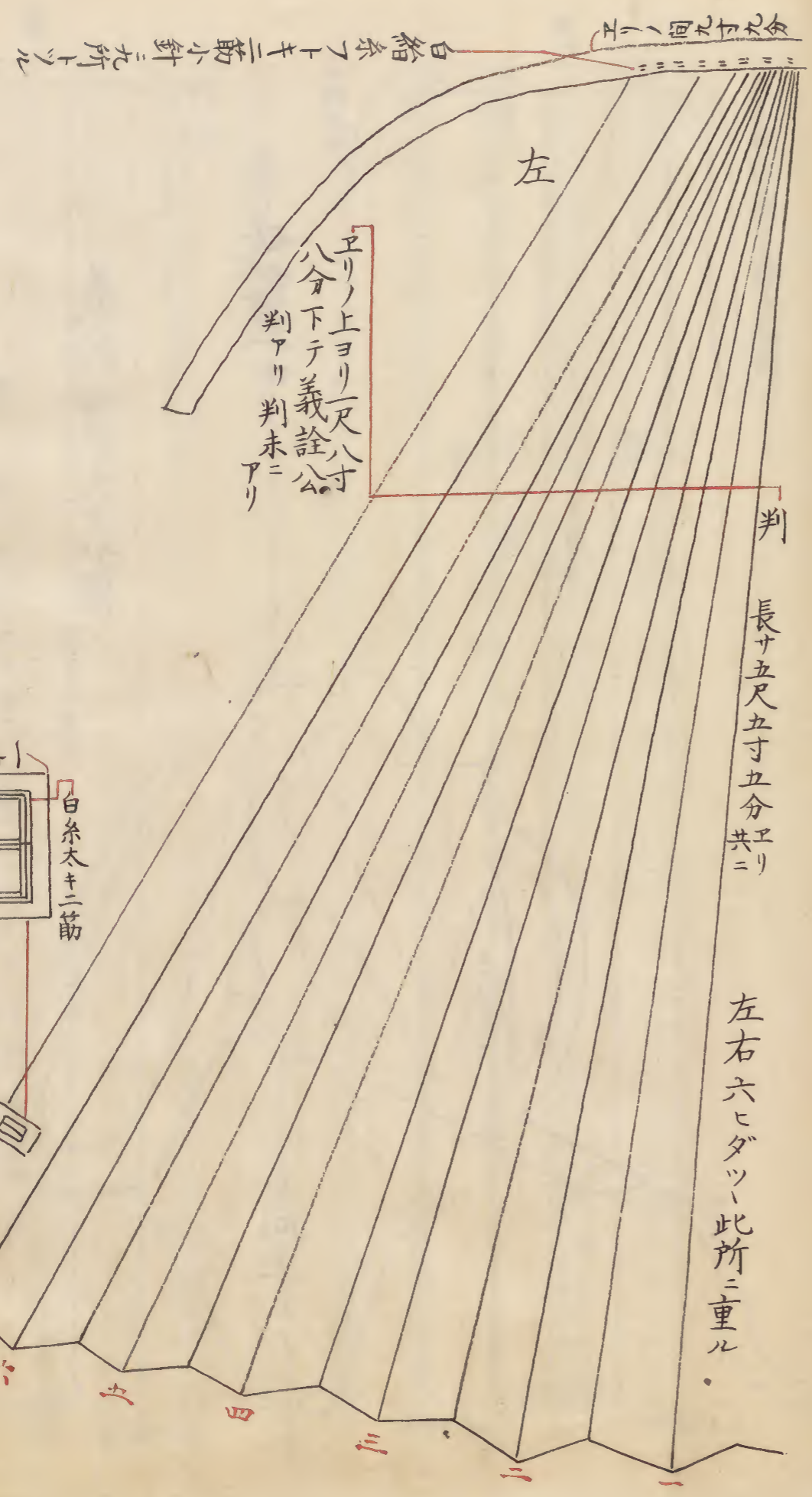
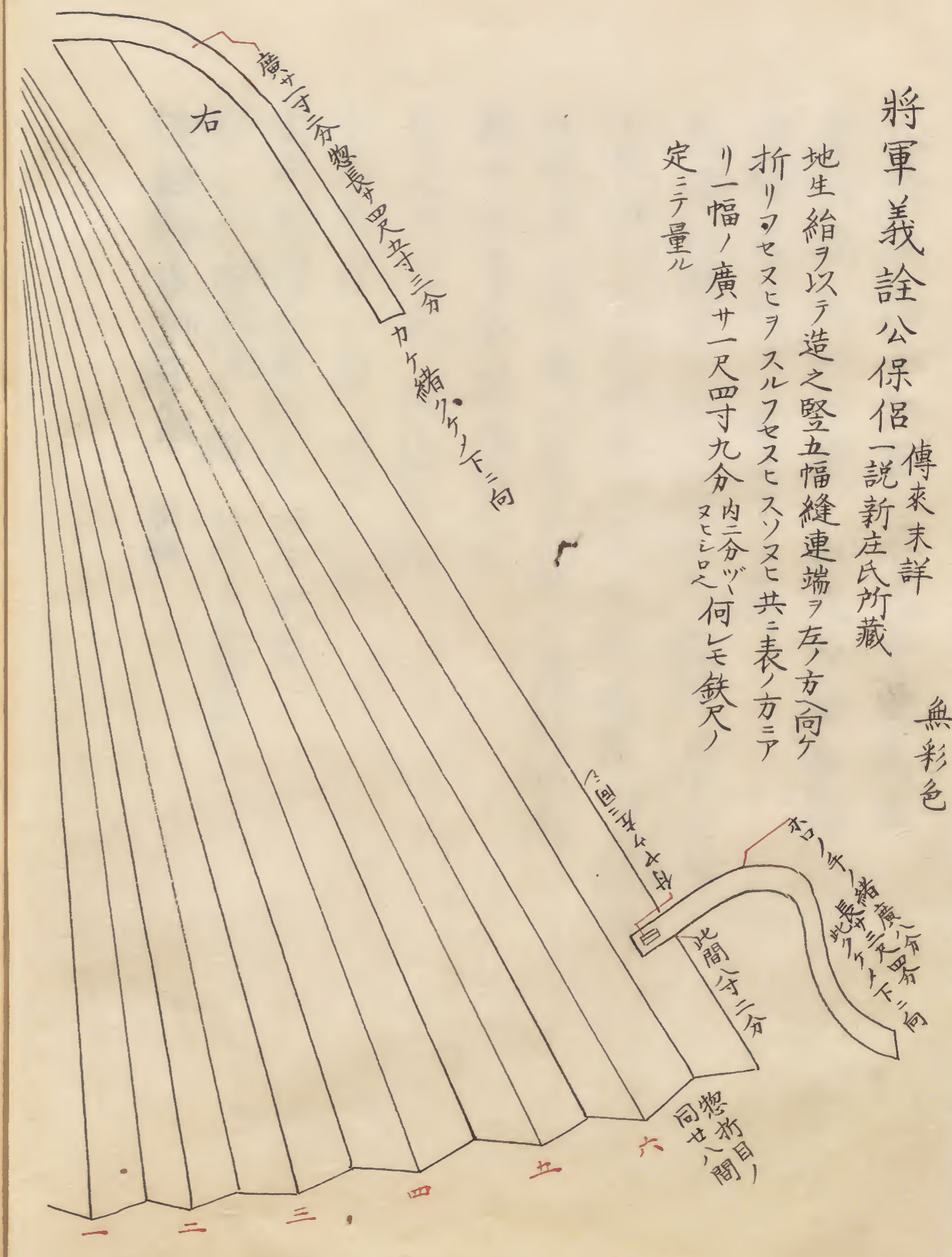
同斷

二拾三品

將軍義詮公保侶 傳來未詳 一説新庄氏所藏

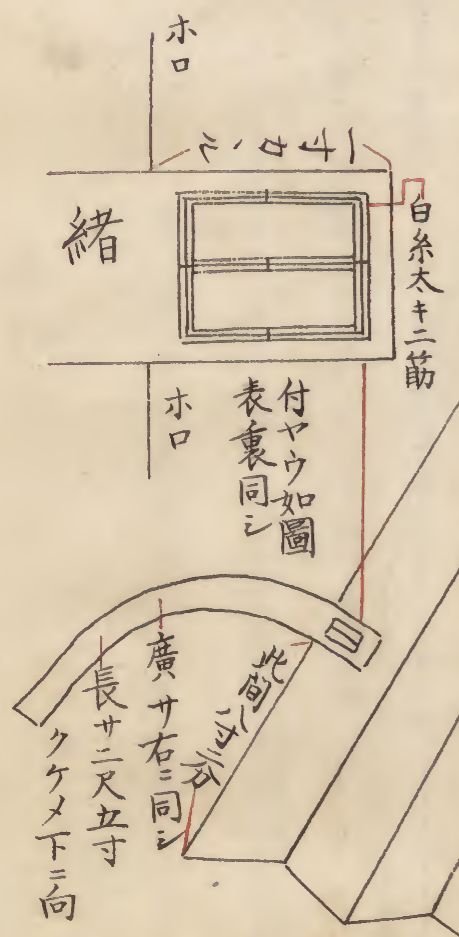
無彩色

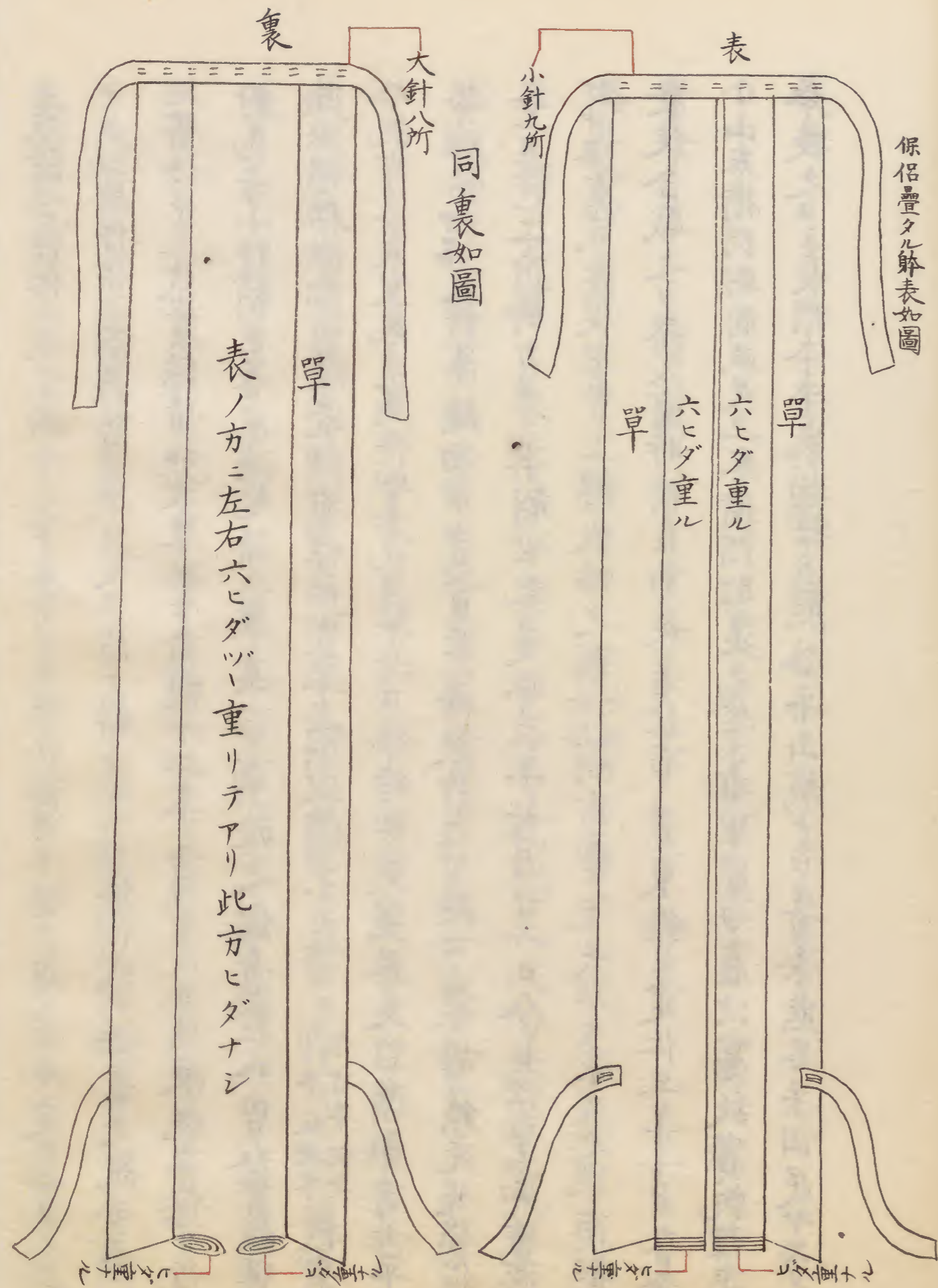
地生給ヲ以テ造之豎五幅縫連端ヲ左ノ方ヘ向ケ
折リマセヌヒヲスルフセヌヒスソヌヒ共ニ表ノ方ニア
リ一幅ノ廣サ一尺四寸九分 内ニ分ツ、何レモ鉄尺ノ
定ニテ量ル



判 長サ五尺五寸五分エリ 共ニ

左右六ヒダツ、此所ニ重ル

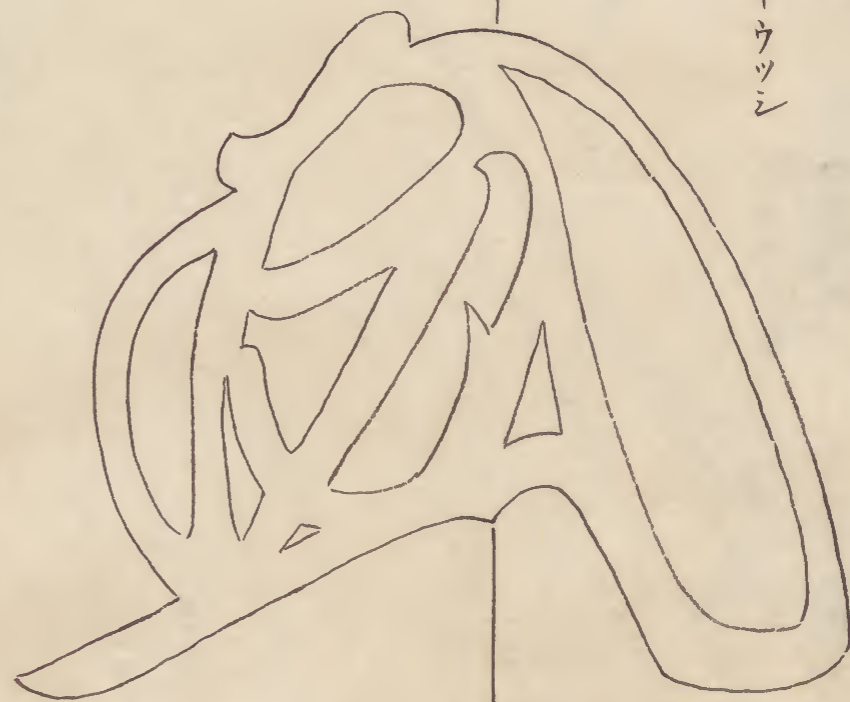




義詮公判大サ如圖

スキウツシ

母衣正中



同上

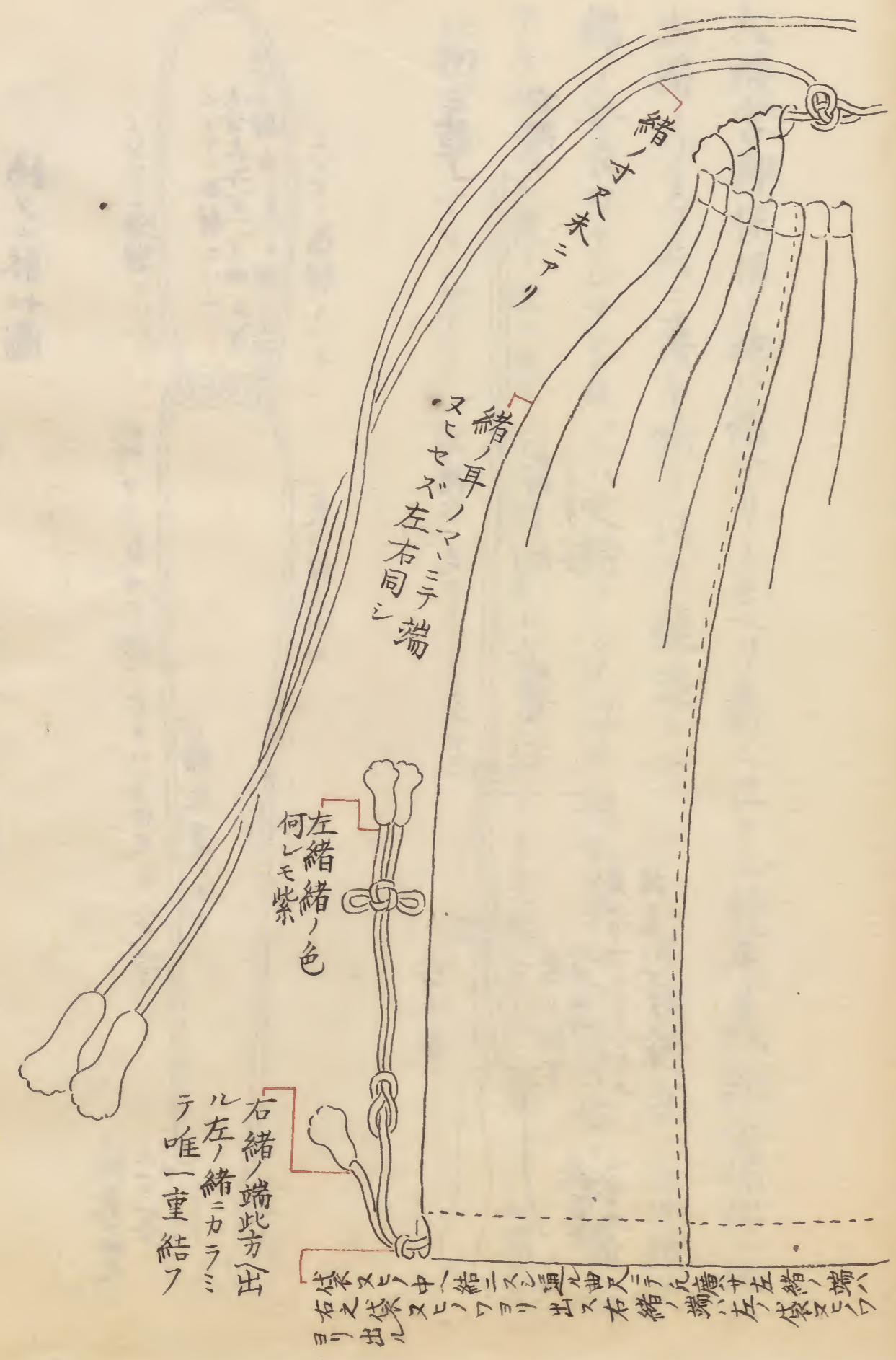
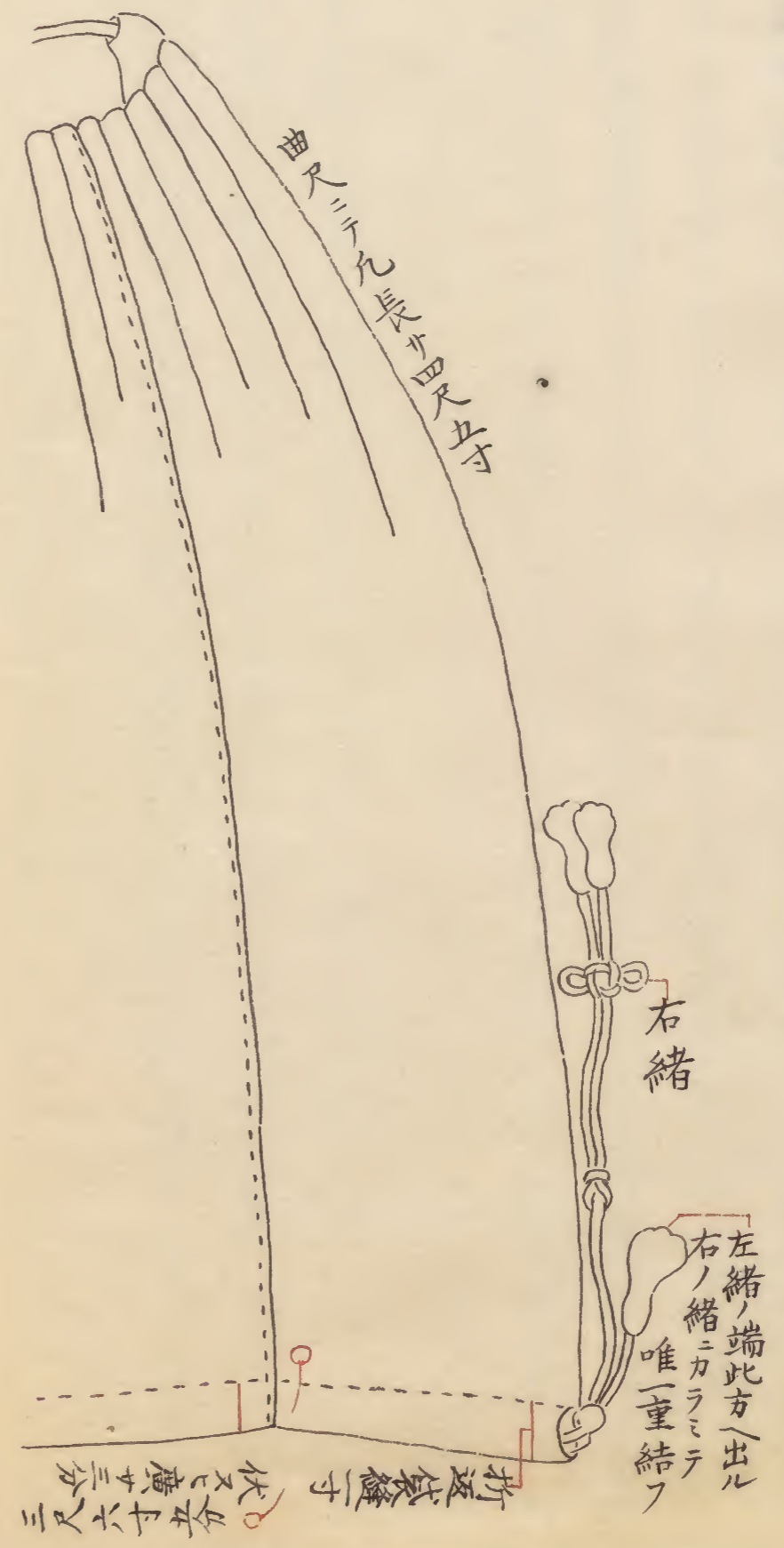
義詮公保侶ハ地生給ナリト云ヘリ凡保侶ハ薄キ物ヲ用ユルカ定レルタメニ
ナラン歟保侶ノ本儀恐ラクハ矢ヲ防ク料ナルベシ保侶或ハ母廬又親母衣ト
云書ルニヤ三代實錄清和天皇紀云貞觀十二年三月十六日戊辰從五位下行
對馬守小野朝臣春風進起請二事其一曰軍旅之儲畜在ハ母廬又親母衣雖薄
助以保侶望請縫造調布保侶衣十領以備不虞云云印本在脱字
略記宇多天皇紀云寬平四年九月十七日卯時守文室善友召集郡司士卒
等仰云中畧大將軍縫物甲冑貫草袴銀作太刀纏弓草胡錄死夾保侶
各一具已上附脚力云云本朝世記云久安三年七月廿一日今日法皇御覽武
士中畧重成郎從甲冑上纏敷幅之布世俗号為御流矢云云永久之比南都
衆徒合戰之日叔父重時朝臣郎從著此布云云東鑑云建仁三年十月九日
小山左衛門尉朝政足立左衛門尉遠元等著甲冑母廬次第故實執權悉
奉授之云云長門本平家物語云熊谷平山城戸口寄糸熊谷平山足ヤスノ

我身モイキツガントテ引退ク時ハ保侶ヲカナグリ落シ又カ、ル時ハ保侶ヲ
カケテオヌイテカケ入云云又云一谷合戰糸梶原源太カ、ル時ハ旗ヲサ、ゲ
母衣ヲカケヒク時ハ旗ヲマキ母衣ヲヌキテ度々入カヘク、カヒケリ云云
搥囊抄云云親ヲ母ノ小袖ナントゾ親ト書古事アル哉末夕其由ヲ不知
事モ侍ニヤ常ノ義ハ孩兒ノ在母胎内時戴胞衣以防諸毒也亦武士
臨戰場時被親以防敵天蓋是胞衣消毒喻也以此義母衣共書トコソ申傳ル
ナリ云云下学集云云親作母衣言孩兒在母胎時頭戴胞衣以防諸毒也今
武士臨戰場時戴親以向敵蓋喻胞衣防毒也云云前ニモ注スル如ク保侶ハ
矢ヲフセグ料ニモウケシ物ナルト見ユルニヤ既ニ三代實錄ニハ冑雖薄助
以保侶スト云ヒ本朝世記ニ甲冑上纏敷幅布世俗号保侶為御流矢ト云
フ又搥囊抄ニ被親以防敵矢ト云ヒ下学集ニ戴親以向敵ト云ヘリ長門
本平家物語ニカ、ルトテハ母衣ヲカケヒク時ハホロヲマキト云フ是等ノ文

ニテ保侶ハ古ヘ矢ヲフセク具ナル徴トゾナスベキニヤ伊勢貞為兵庫頭聞書
正慶長比人云保呂作次第夏長サ五尺八寸ヲ五幅ニスフヒダヲ取ル夏両方二十カ
サ重子一方五重ツナリ一方ニ五重ナレハ両方二十重也可思之人高名スベキホ
口見ル事母衣其身ヲオシツム如ク保侶鎧ノ袖ニカハラバ必ス高名吉也
ト可知之云云

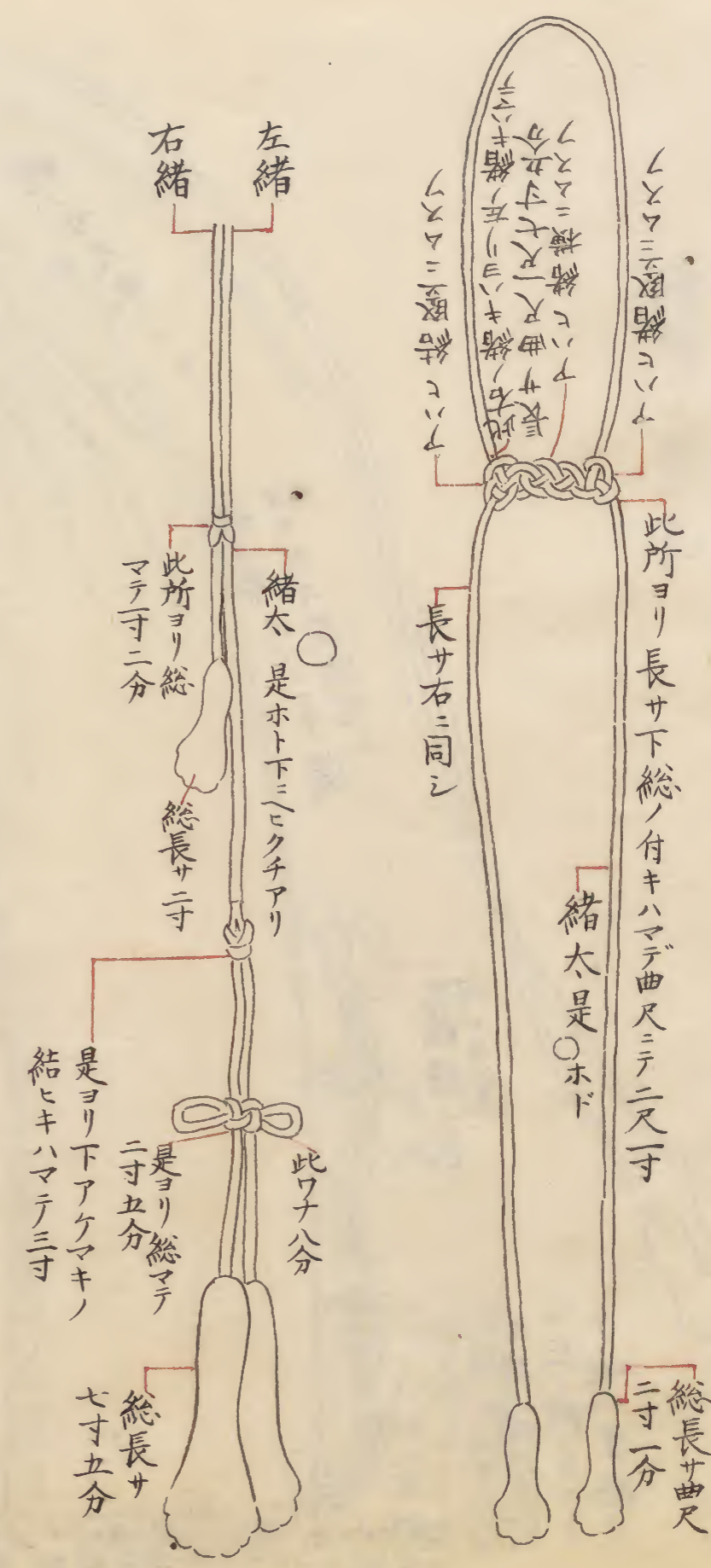
和州三輪社所藏大塔宮御保侶圖

地淺黄色之縮三幅ナリ
緒何レモ紫色



御保侶緒
結タル躰如圖

緒色紫四ツ打也何レモ同シ



大塔宮御保侶ノ地ハ縮ナリト云ヘリ前ニ注スル將軍義詮公保侶ノ地ハ
生縮トゾニフ共ニ薄キ物ヲ以テ縫造レルナランニヤ明德記ニ赤地ノ
錦ノ母衣カケシナド云ヘルハ文飭ノミヲ以テ注セルナルベシ保侶ノ本儀ニハ
アラザルベシ後ノ世ニ至リテハホロカゴホログシナドモ出來テ背ニノシ負ヒ
シ物ニモヤナリシナラン歟

和州法隆寺繪堂保侶掛武者圖

無彩色

秦致真ノ画ト
世ニ云傳フ

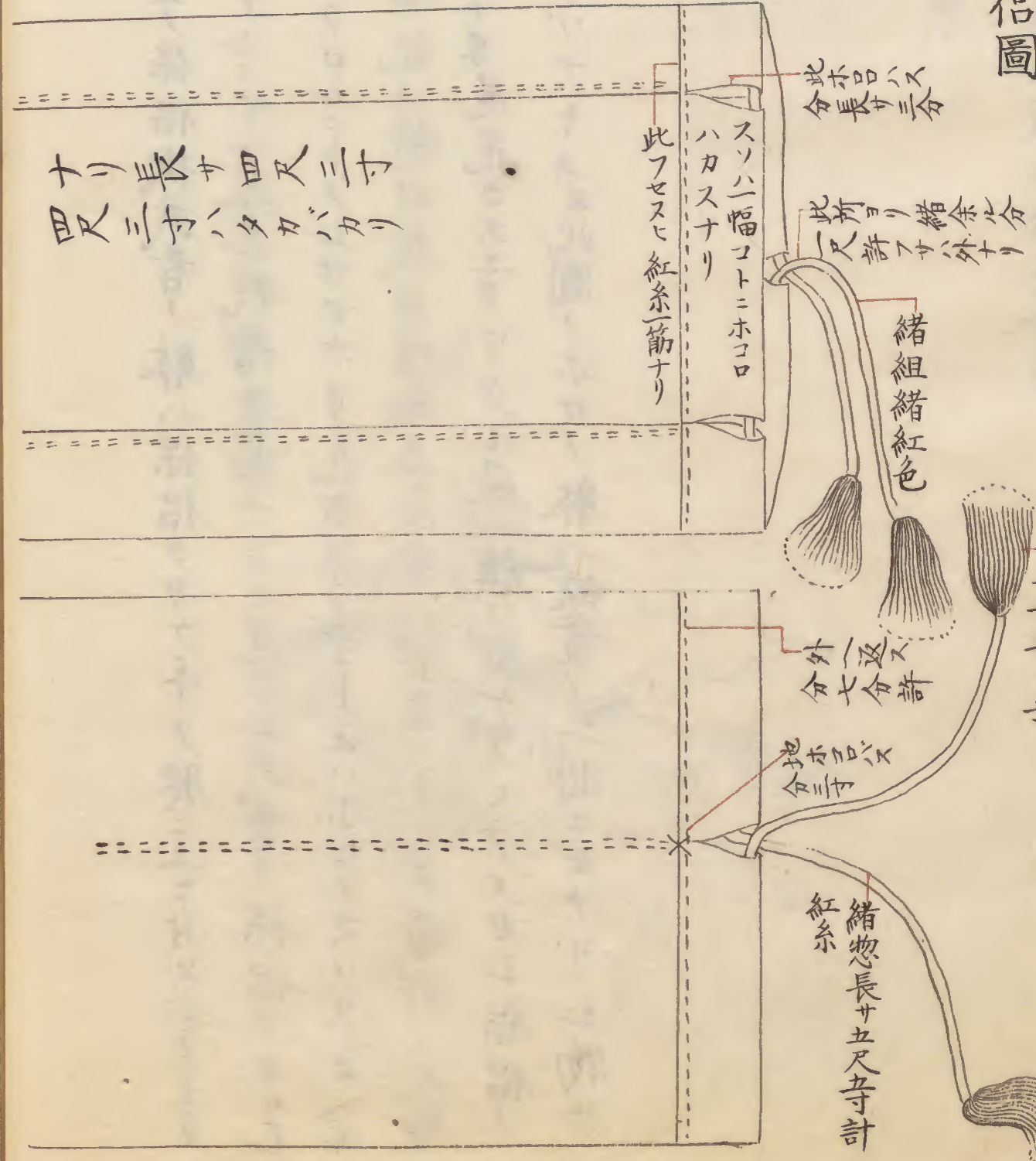


法隆寺繪堂ノ保侶掛武者ノ躰ハ保侶ヲカケ手ヲ腰ニユヒ付ズシテヒラメ
カシタルサマナルニヤ一谷合戦繪卷物ナトニ見エシ武者ノ保侶ヲカケシ
躰ハホロノ手ヲロシトメシサマナリ凡ホロノ手ト云ハホロノスソヲ云ヘル
ナラン歎太平記云新田義貞謀叛条四方八百里ニ余ル武藏野ニ人馬
共ニミチクテ中畧尾花ガスエヲワクル風ハ旗ノカゲヲヒラメカシ保侶ノ
手シツマル事ゾナキ云云此圖ノホロノ躰ハ故實ノ一助ニモナリシ物ナ
ラン歎

古矢保侶圖

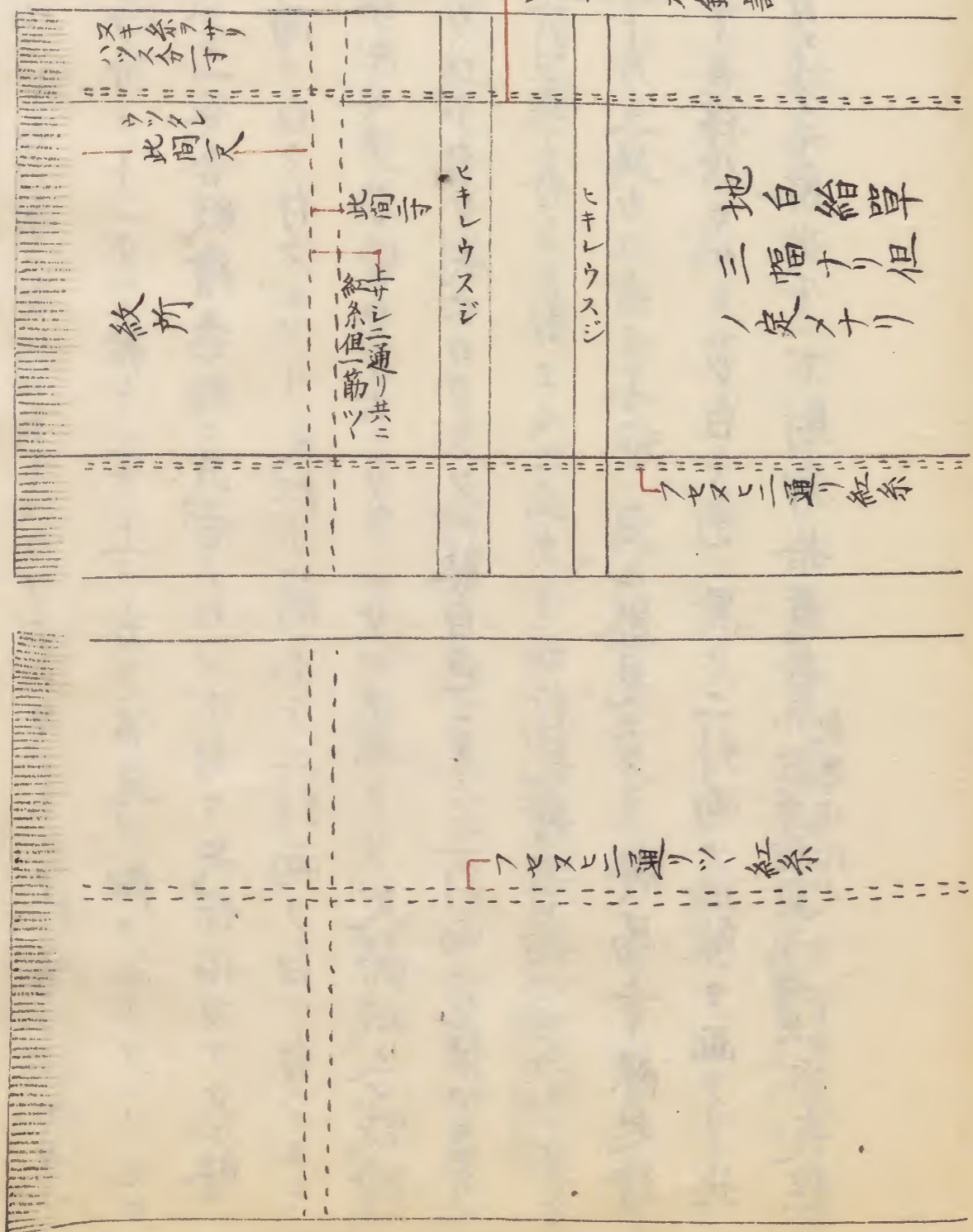
傳來未詳

無彩色



ナリ長サ四尺三寸
尺三寸ハタカバカリ

フセスヒ二通り紅糸但糸二筋ハ
四筋ナリ大針許



紋所

地白給單
三幅ナリ但
一疋メナリ

フセスヒ二通り紅糸

表

裏

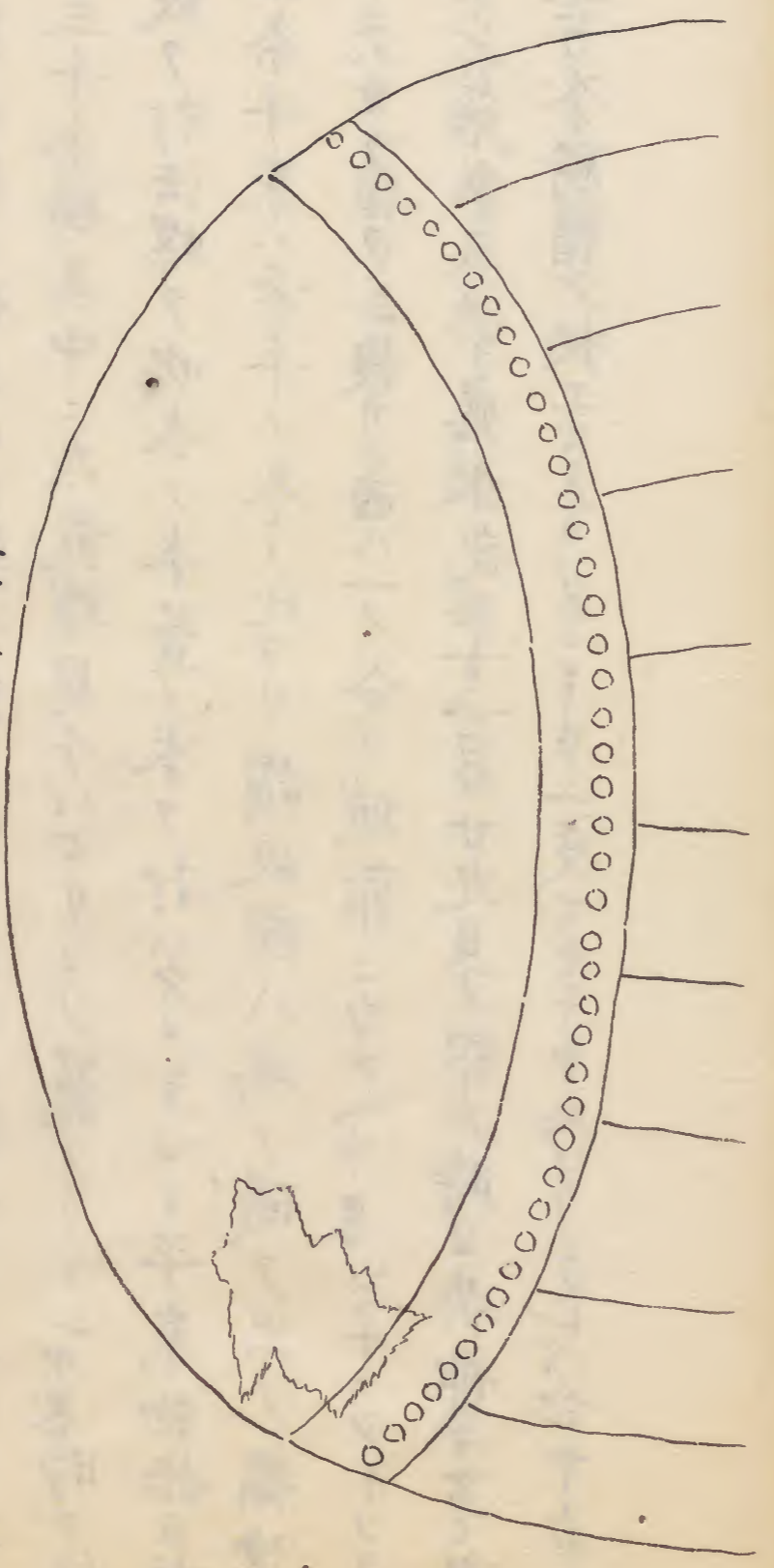
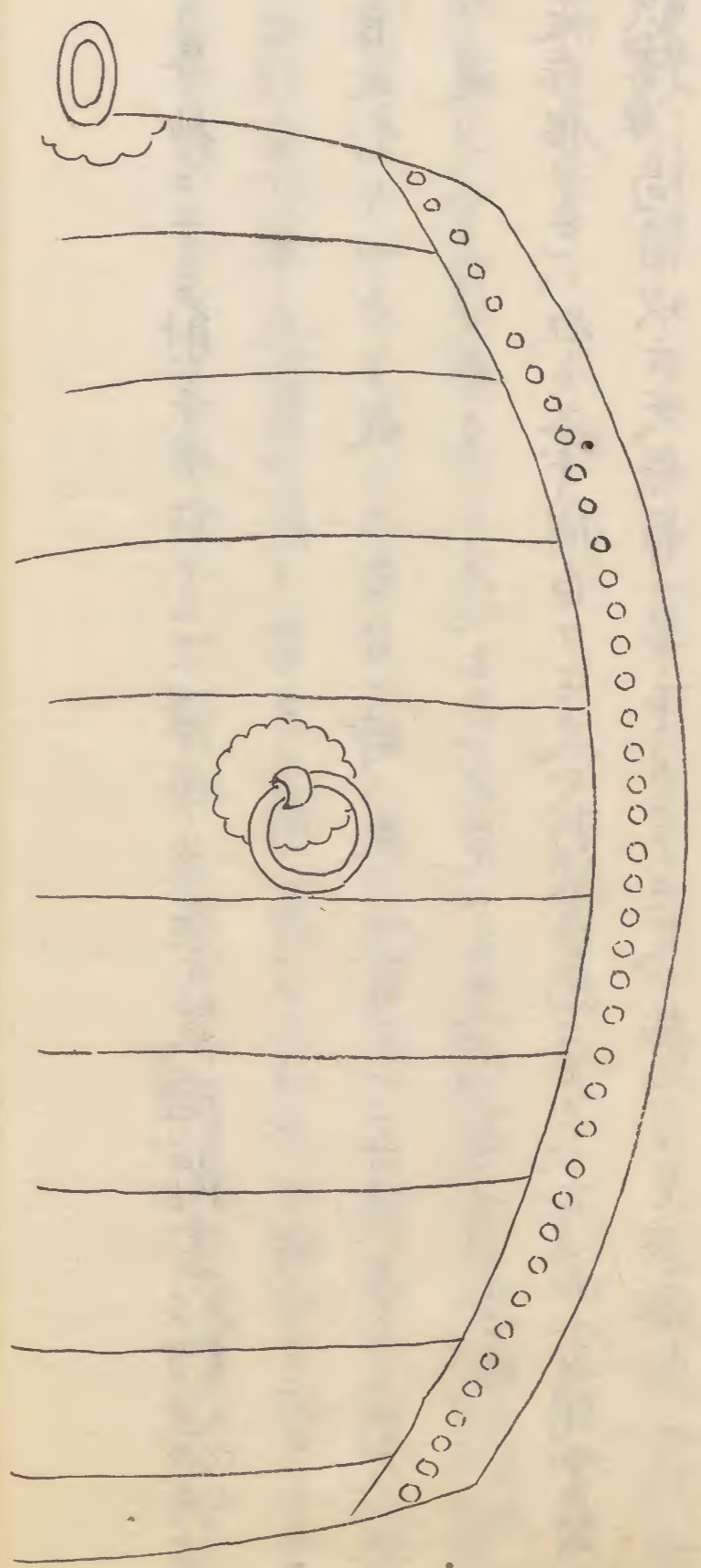
傳來未詳古矢保侶地白給ト云ヘリ或ハ紗ナドニテ造リシ事モアリシ
ナラシ歟此物本儀ハ空穗ニカクル物ナルベシ恐ラクハ毛皮カケサルウツ
ホノオホヒナルニヤウツボニカクルトキハウツボノカマトノ上ノ方マデカケテ
給ヲシメ一結シテサテトシボウ結ビニシテ上ノ方ヲ召皮ヲ細クシテク、リモロ
ハナニ結ブナルベシ一谷合戦繪卷物ニ武者ノウツボ付ケ矢保侶カケタル躰ナ
ルガ紅色ニ引両ヲ白ク付タルアリ又紅ト萌木テ二引両ヲ白ク付タルモ
アリ或ハ引両ナキモアリ皆ウツボニカケシサマヲ画ケリ又結城合戦繪
卷物ニ武者ノウツボ付ケ矢ボロカケタル躰白色ニ黒ク二引両ナルサマモアリ
又紅色ニ黒ク二引両ヲ付タル躰ナルモ画ケリ西行記繪卷物ニモウツボニ
矢ボロカケジントウニツウツボノ上ニサシタル躰見エタリ鞍馬寺縁起繪
卷物ニモ武者ノ矢保侶カケタルガ白キ色ニ黒ク二引両ナル躰ヲ画ケリ此
等皆ウツボニカケタル躰ナルニヤ射御拾遺抄小笠原備前守持長云矢保
記應永比人

呂ノ事紗ニテモ射手ノ好ミニスベキナリ云云軍陣聞書多賀豊後守高忠
記寛正比人
云矢保侶ノ事吾家ノ紋ヲ付タル時ハ打タレマデモ羽ノトヲリニテモ
可付又引リヤウト紋トニ色付ル時ハ紋ヲハ打タレニ付テヒキリヤウヲバ
羽ノ通りニ可付又無文ニモスベシ色不定云云文明隨兵日記小笠原兵部少
輔元長記
云矢保侶ノ色ハ紅モエギ同白クモ又ハ朽葉色ニモスベシ云云一カ聞書小
笠原兵部少
輔元長記
原民部少輔
文龜比人 尚清以云矢保呂ノ事キヌニテモ又ハ紗ニテスベシ云云

攝州須磨浦現光寺所藏陣太鼓圖

無彩色

本ニ此陣太鼓壽永
比ノ物ト云



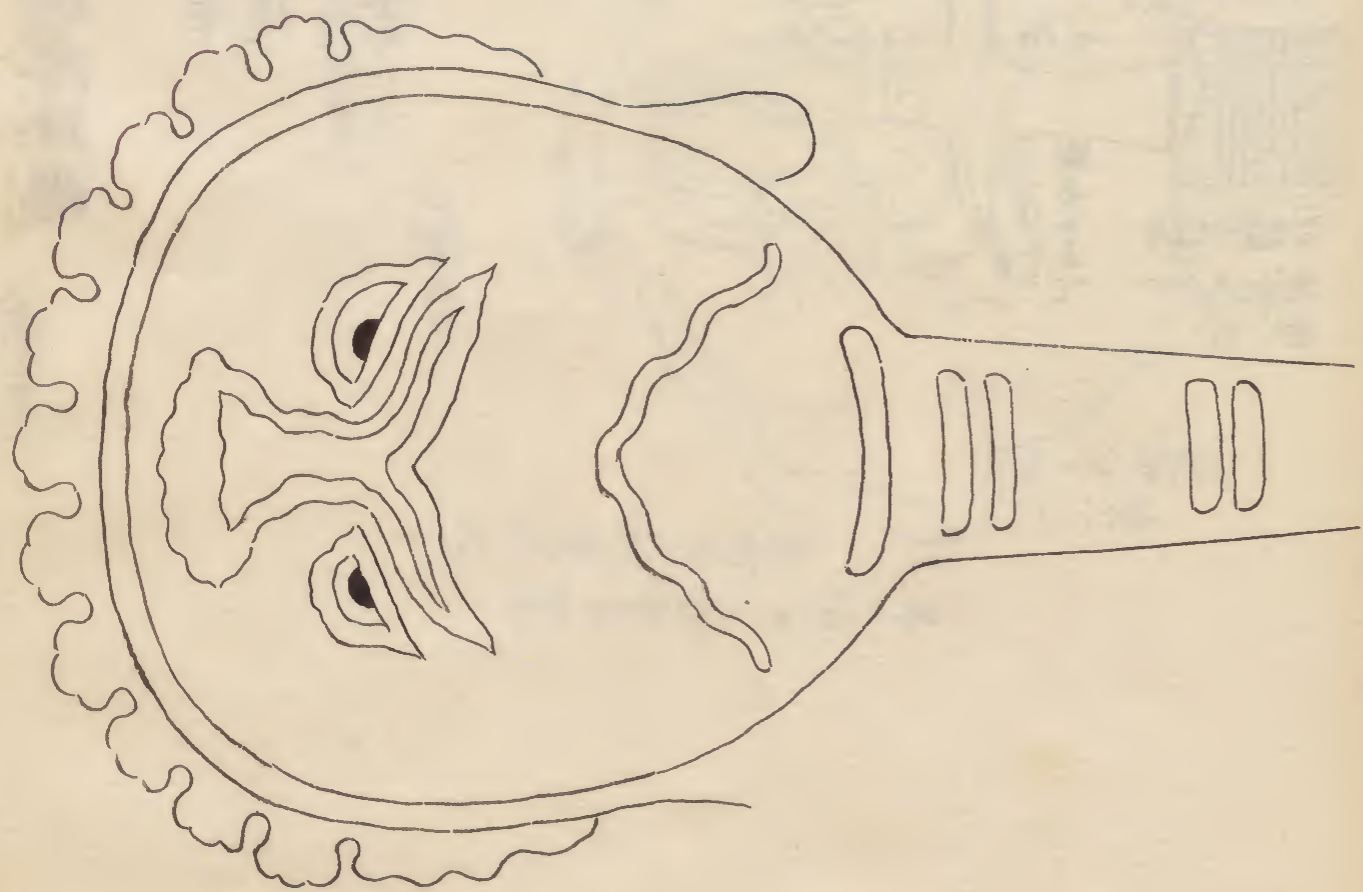
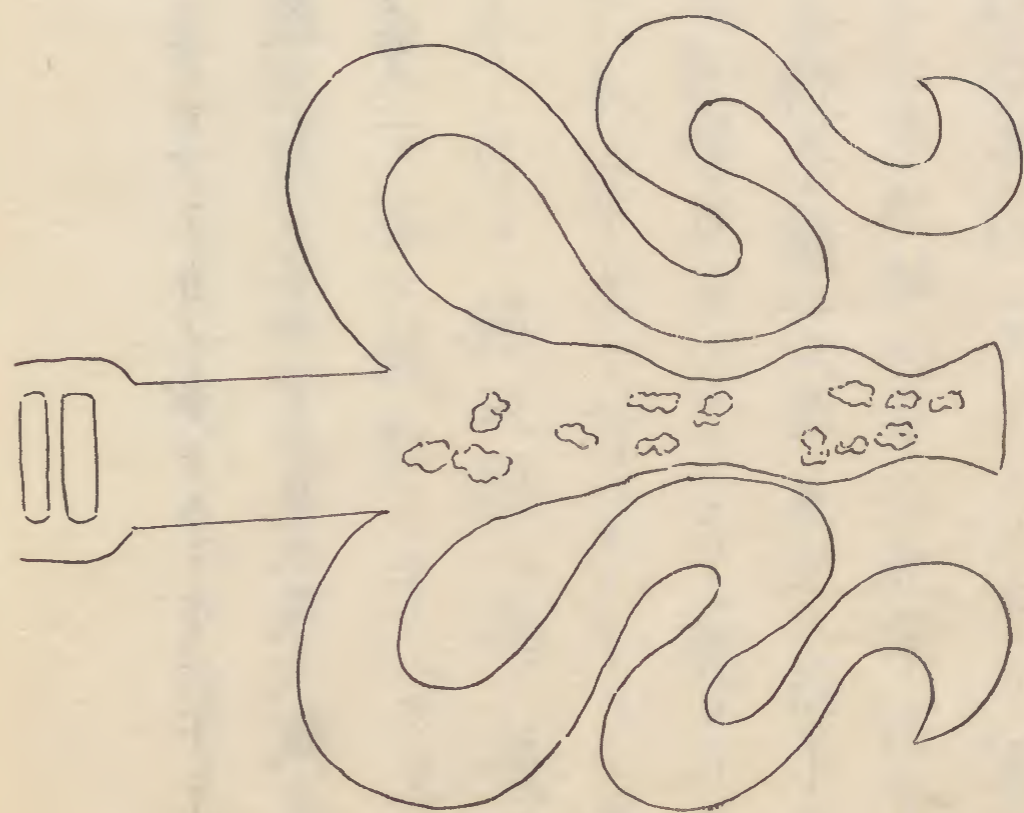
度一尺一寸半

攝忍現光寺所藏陣太鼓ハ壽永中ノ物ト云ヘリ原圖須磨浦現光
寺所藏トアレト須磨浦ニ現光寺ト云ハナカリシ牧攝津志等ニ見ル
所ナルニヤ西須磨村ニ福祥寺ト云アリ恐ラクハ此福祥寺ノ寺中ナ
ラン牧須磨浦ハ矢田部郡須磨村ニアリトゾ云ヘリ軍ニ鼓ヲ用ヒラル
ハ遠キ昔ヨリアリシ事ニテ日本紀神功皇后紀軍防令ニモ見ヘタリ
源平盛衰記云礪並山合戦糸樋口次郎兼光ハ搦手ヨリマハリタリ
ケルガ三千余騎其中ニ太鼓螺貝チバカリコソ籠タリケレ中畧時ヲ作
リ太鼓ヲ打法螺ヲ吹木ノ本萱ノ本ヲ打ハタメキ云々平家物語云樋
口被切糸平家ハ去年ノ冬ノ比ヨリ讃岐國八嶋ノ磯ヲ出テ攝津
ノ國ナニハカタニラシ渡リ西ハ一ノ谷ヲ城郭ニカマヘ中畧ツ子ニタイコヲ
打テランジヤウス云々應永記云十一月廿九日ノ卯ノ時ヨリ神ヨセミカ
タノ三万余騎楯ノ板エビヲタハキテ一度ニトキヲ作りケレバジヤウノ

内ニモ五千余騎大鼓ヲウチヤグラカイダテタハキテトキヲソ合ケル云々
前九年合戦繪卷物ニ大鼓ヲ打タルサマモ見エ又大鼓ヲ棒ニ通シ二人シ
テカツキタル躰ヲモ画キタリ

鹿島正等寺所藏驛路鈴圖

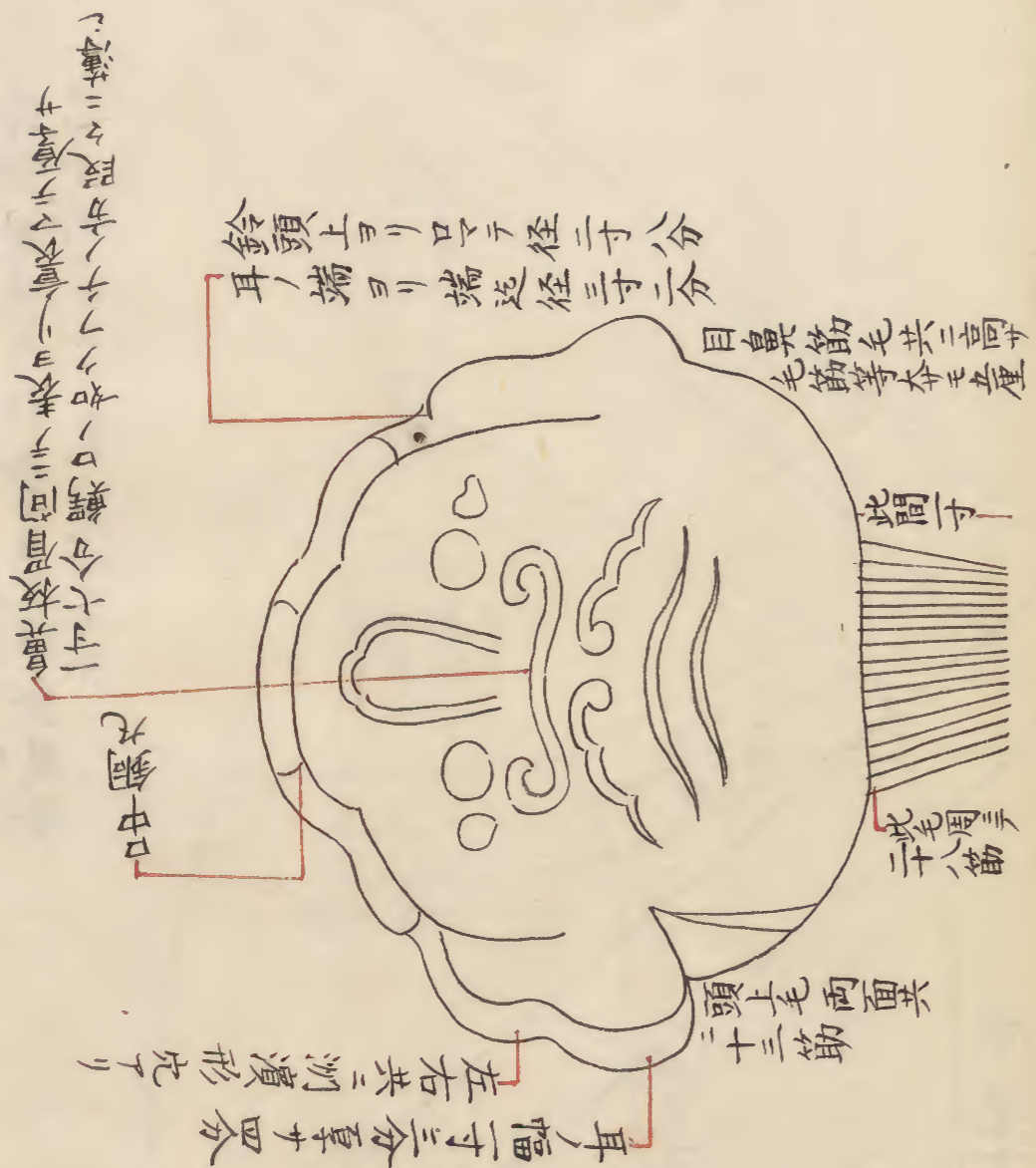
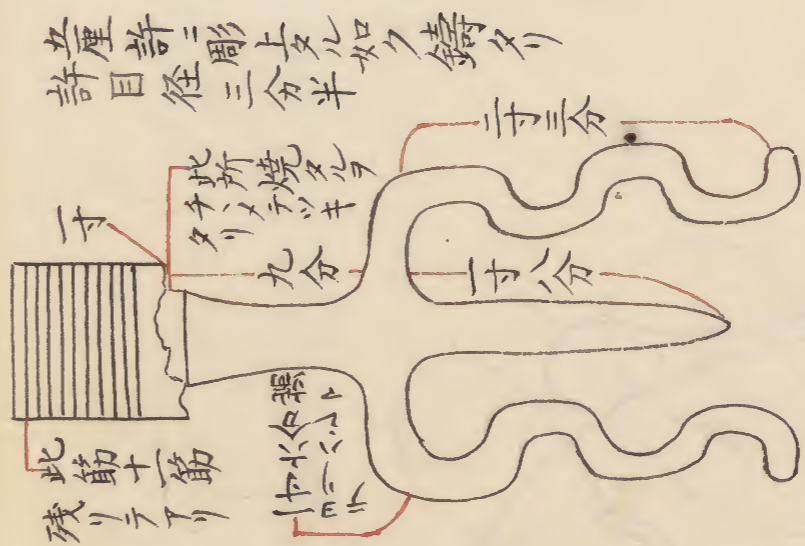
無彩色



下総國吾嬬社神宝驛路鈴圖

彩色

社人社僧等說先年神庫
類燒く時此鈴火災ニカハル燒
折クルヲチノメテ近比継タリ
ト云惣金色火ニカハリテ赤マ
タラニ見ユル

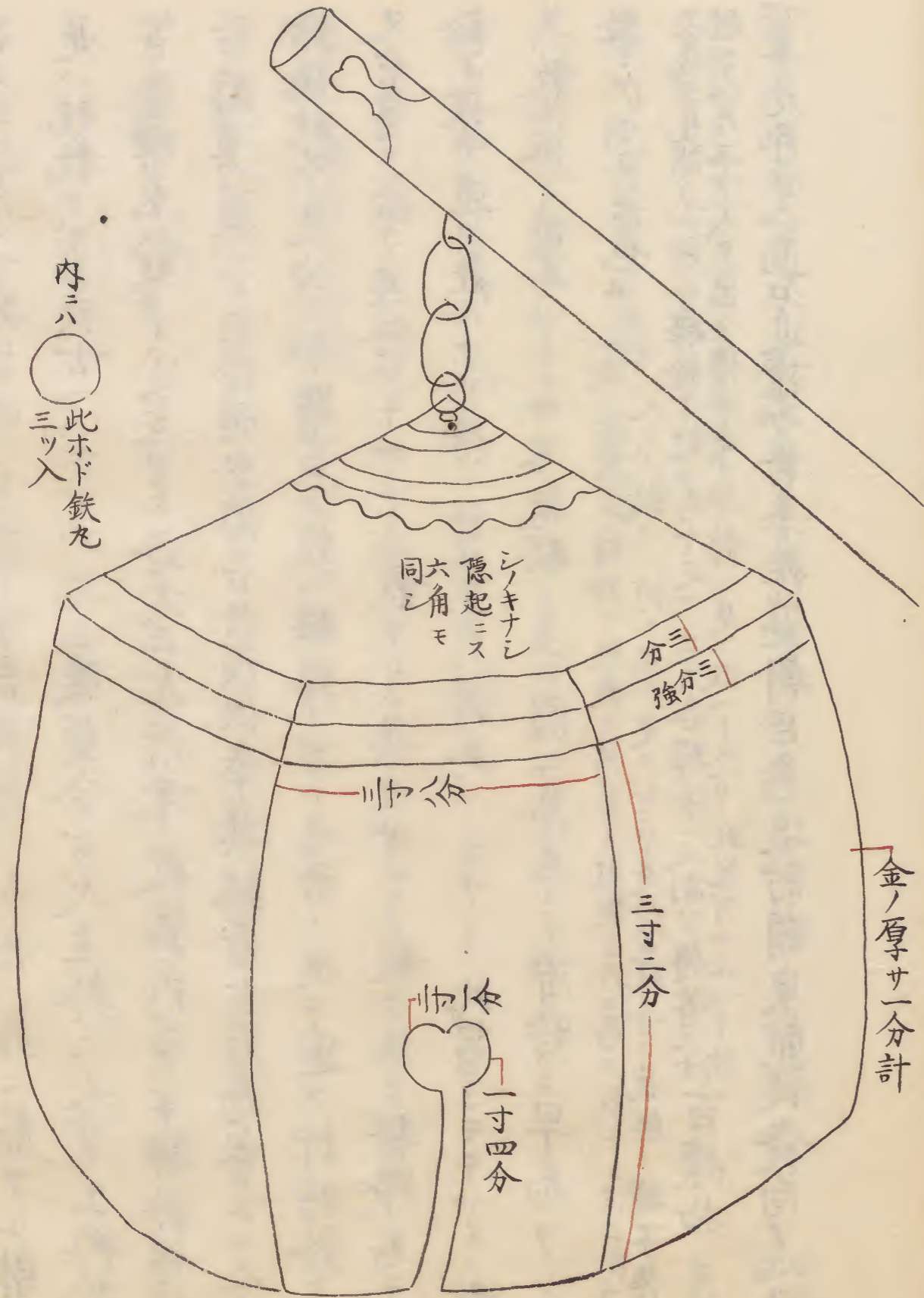


古驛路鈴圖

傳來未詳

無彩色

本云鈴一口雲州人所藏ト申傳フ先年
上京節携之室永京都大火ノ時於
旅館焼失ス鈴金ノツキ惣金具金
メツキ柄クロヌリ長一尺二寸余



正等寺所藏驛路鈴吾嬭社神寶驛路鈴傳來末詳驛路鈴等其形
各々がヒアルニヤ其レカ中ニモ正等寺吾嬭社ナドノ物ハ鈴ニ筋アル躰ナリ
是ハ尅數ナラン欵古ヘノサマナルベシ職員令云大主鈴二人掌出納鈴印傳
符飛驒函鈴云云延喜主鈴式云允行幸從駕内印并驛鈴傳符等
皆納漆簾子主鈴與少納言共預供奉其馱者左右馬寮云ル之云云一
條攝政冬良公ノ令聞書云鈴ハ驛路ノス也君ノ使ニ遠ク行時鈴ヲ賜ヒ
又官符ヲ給フ其鈴ニキザミノ數アリ其キザミノ數ニ依テ驛路馬ニリテ
鈴ヲ振テ遠ク經ルナリ傳ノ符ト云ハ傳馬ヲ云ナリ此符ニモキザミノ數アリ
其數ニ依テ傳馬ニノル中畧飛驒ト云ハ國ニ急事ノ有時ニ早馬ヲタツル
事アルヲ云也云云一說ニ右聞書ニ驛鈴ノ尅數モ傳符ノ尅數モ共ニ馬ノ數トシ注シ給フシカ
ラハ人々ノ數ヲバ何ニ依テ定メシニヤ是ハ公式令ノ我解ノ驛子傳子ノ
文義ヲ見誤ラレシニヤ驛鈴十尅ハ馬十疋ヲ出ス各驛子一人副フ傳符三十
尅ハ人夫三十人ヲ出ス傳子是ナリ餘ハ是ニ倣ト云ヘリ此說可ナルベキ欵百練抄云治養
四年九月廿二日右近權少將平維盛朝臣為追討關東賊徒發向美平天

慶例幽玄之間今度就喜美例所被行也不給節刀賜驛鈴云云源平盛衰
物語等ニ注スル所亦同之盛衰記ニハ鈴ヲ云云記并平家
皮ノ袋ニ入テ人ノ頸ニカケサセテ云云

堀川院百首云關 匡房

相坂ノ關ノセキモリイデ、見ヨムマヤツタヒニ鈴キコユナリ

同次郎百首云 鈴虫 仲實

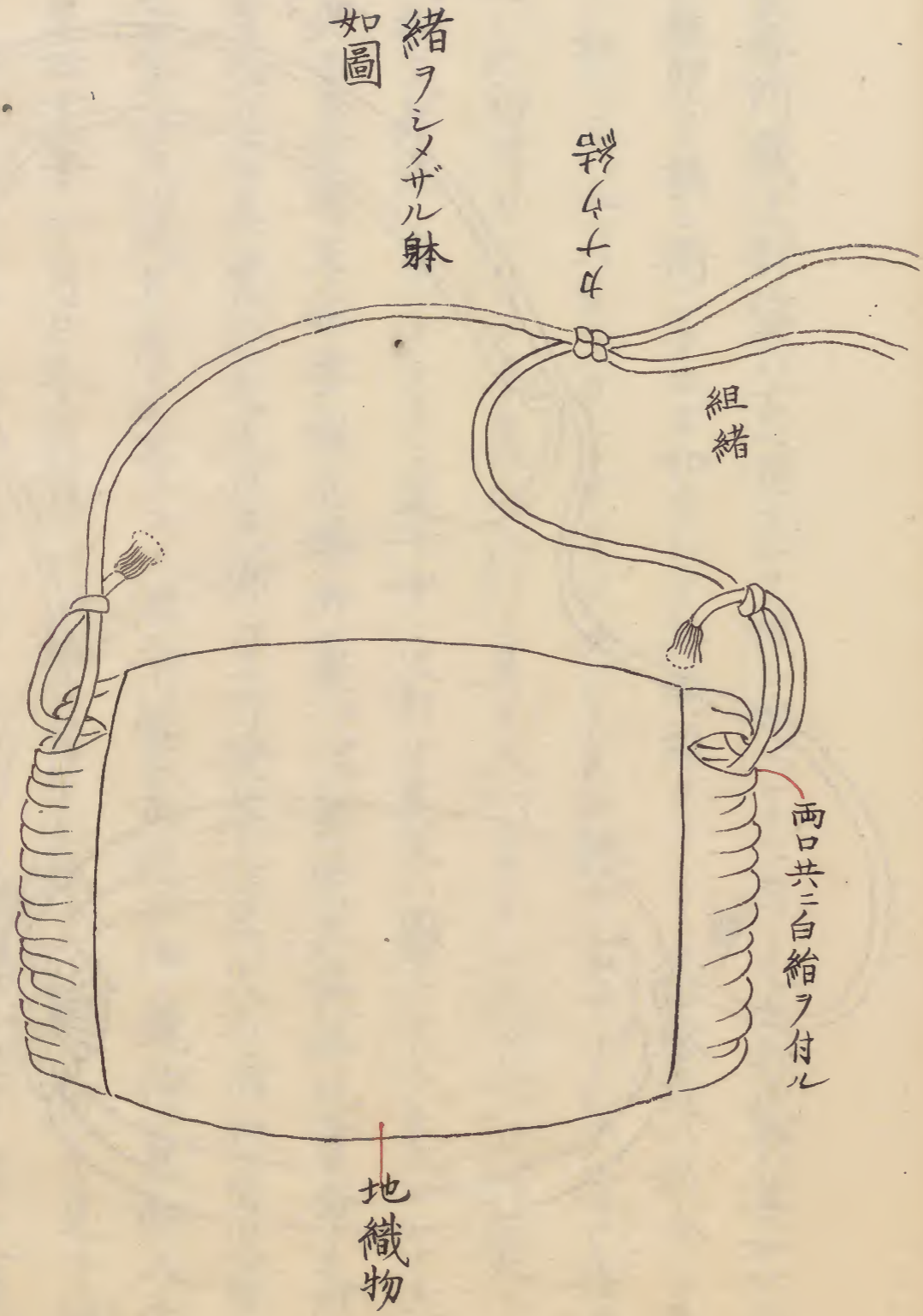
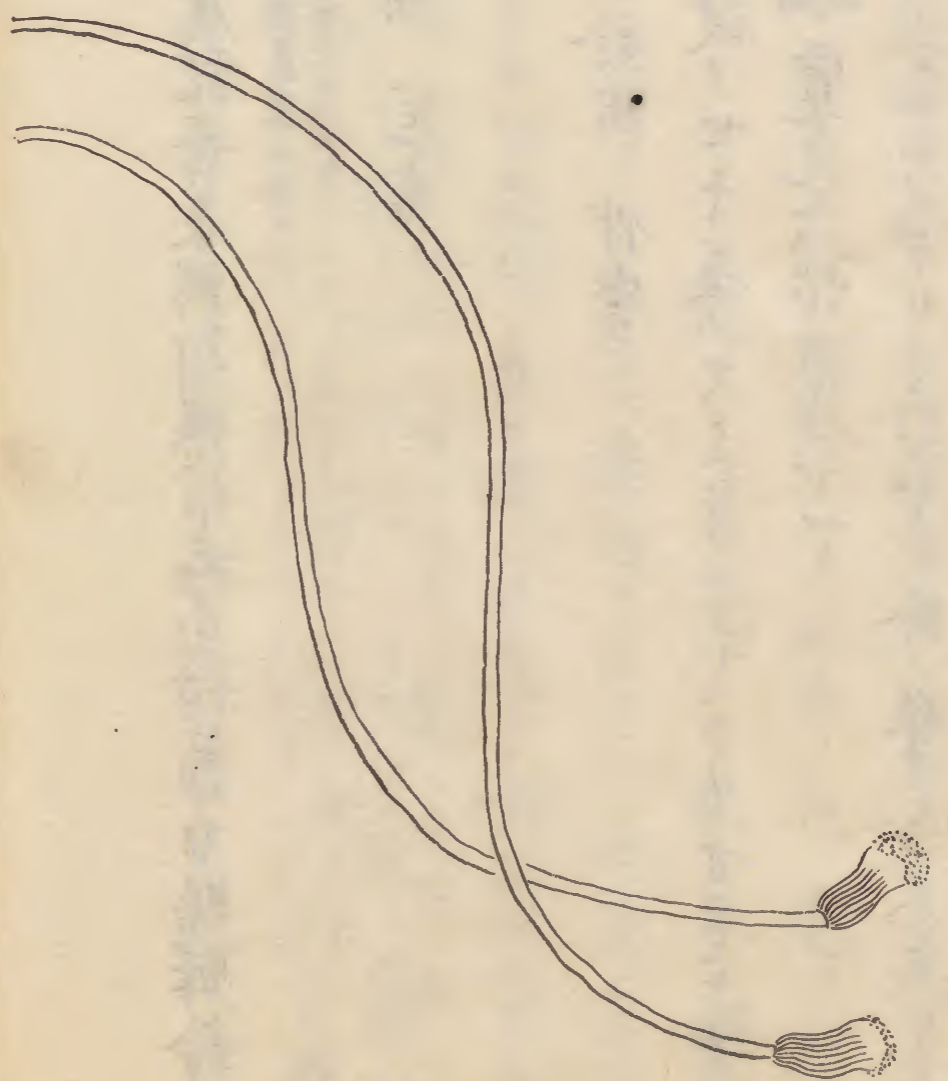
アツマヂノ不破ノセキ屋ノスムシラムマヤニフルトオモヒケルカナ
ムマヤハ驛舎ニテ鈴ハ驛
路ノ鈴ヲヨメルナラン欵 寛元六帖云ウマヤ

旅人ノ山コシワタルユフギリニムマヤノ鈴ノ聲ヒクナリ
道ホソキセキノムマヤノスカ山フリハスグル友ヨバフナリ

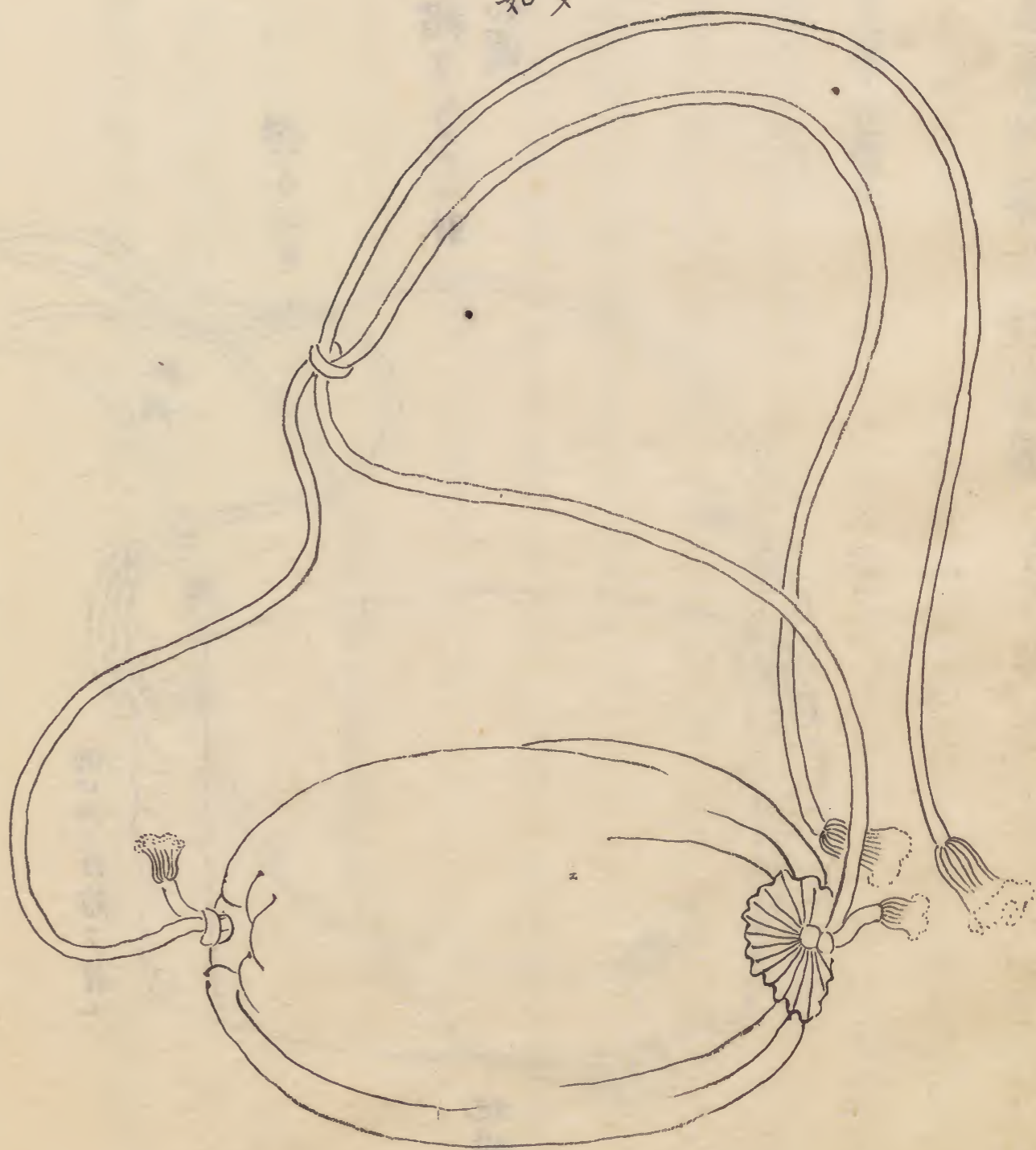
伊勢貞春所藏火打袂圖

無彩色

寸尺等如圖式



緒ヲシメ
タル躰如
圖



伊勢貞春所藏火打袋ハ古ヘ用ヒシヲ摸シ傳ヘシトソマフ凡火打袋ハ其サマニ品アルニヤ形雞卵ヲ横ニ倒シタルガ如クシテ其両頭ヲクハリタル躰或ハ形今ニ云中著ト云物ノ如クニテ上ニハカリクチアリテクハリタル躰ナルモアリシナルニヤ共ニ古ヘ物ナルベシ此物腰刀ニ付テ本儀ハ火打ノ具ヲ入レシナラン歎サレバ火打袋ト云ヘルニヤ織物又縮或ハ皮ニテモヌヒ造リ中ニ火打ノ具又ハ藥ナドヲモ入レシナルベシ古事紀云倭此賣命賜草那藝劍亦賜御囊中畧解開其姨倭比賣命之所賜囊口而見者火打有其裏於是先以其御刀苜撥草以其火打而打出火著向火而焼退還出皆切滅其國造等云云源平盛衰記云神鏡神璽都入冬景行天皇四十年十月日本武尊中畧劍ニ付タル錦ノ袋ヲ披キ見ルトモ燧アリ尊自ラ石ノカドヲ取テ火ヲ打出シ野ニツケタレバ風忽ニ起テ猛火夷賊ニ吹覆ヒ凶徒悉ク焼亡ヒヌサテコソ其所ヲハ焼野ノ里トハ申ナレハ此ヨリシテ天叢雲劍ヲ草薙ノ劍ト名ツケタリ彼燧ト申ハ天照太神百王ノ末

帝マテ我御貌ヲ見へ奉ラントテ自ラ御鏡ニ移サセ上ケルニ初ノ鑄損シノ
鏡ハ紀伊國日前ノ宮ニオハシマス第一度ノ御鏡ヲ取り上御覽シケルニ
取弛シテ打落シニ破レタルヲ燧ニナシ玉ヘリ彼燧ヲ錦ノ袋ニ入レ劔ヲ
ラレタリケル也今ノ世マデ人ノ腰刀ニ錦ノ赤草ヲ下ケテ燧袋ト云フ事ハ
此故也錦ノ赤草ト云ハ赤地ニ白ク
又云圓滿院大輔登山条圓滿院ノ大輔
ハ宇治ノ軍ヲ遁レ出テ息ツキ居タリケルカ中畧今寺門ノ面目ヲ失フ夏
生々世々ノ怨敵ナリ速ニ登山シテ堂舎佛閣悉ク魔滅ノ煙トナサバ
ヤト大悪心ヲ起シ火打ツケ竹硫黄ナト用意シテ火打代衣ニシツラヒ入
形ヲ修行法師ニ作りナシテ山門ヘコソ忍ヒ登レ云云
ツケ竹トハツケ草ナルニヤ
信州木曾ナトニツケ草ト
云タケアリトソ此タケニ火ヲ付ルニキエ又
ト云ヘリ又ハ硫黄ヲ付タルツケ木ナラシク
後撰集云離別
ミチノクニヘマカリケ
ル人ニ火ウチヲツカハストテ書ツケ侍リケル
貫之
ヲリクニウチデタク火ノ烟アラバ心サスガヲシノベトゾ思フ

為家卿抄云サスガハ腰刀ナリ火打ヲ付タリ云云公忠集云井ナカヘクダル人ニシロキフクロヲアラキモ
ノシテスリテヒウチヲソヘテヤルトテ

ウチ見テハ思ヒイデヨト我ヤドノ忍ブ草シテヌレルナリケリ
袋トアルハ火打袋ナラシヤ白キ縮ニ昔ク文ヲスリタルヲ用ヒシナルベシ新千載集云親盛カラ物ノ使ニテユクニカ
子ノ火打ホクソニシツメラシテシノブスリノ袋ニ 敦忠

ウチツケニ思ヒ出ヅヤトフルサトノシノブ草ニテスレルナリケリ
ホクソハホクチナルベシ夫木抄云六帖題衣笠内大臣打イダス火ウチノ 太平記云公家武家
石ノホクソナシ何ニモツカヌワカ身ナリケリ

榮枯易地条五番ノ頭人ハ只今シタテタル鎧一縮ニサメカケタル白太刀ツカサ
ヤ皆金ニテ打クミタル刀ニ虎ノ皮ノ火打袋ヲサゲ一様ニコレヲヒク云是虎
ノ皮ニ

テ火打袋ヲ又云北野通夜物語条又アル時此青砥左衛門夜ニ入テ出仕シテ
作レルナルベシ
ルニイツモ火打袋ニ入テ持タル錢ヲ十文取りハツシテナメリ川ヘソ落シ入
タリケル云云親元日記 蜷川新左衛門尉記 寛正六年三月四日將軍家花御

覽糸御長持一也常御直岳御大口御腰物火打袋云御供故實伊勢

寺貞藤記長云御前ナド又ハ暗ノ時刀ニ火打袋サケ候事若キ方ハアルマシ

キ事ニ候四十以後ハ御前ヘモサゲ申候但御給ニ候ヘハ若キ人ニモ不苦候云

條々聞書伊勢下総寺貞頼云火打袋ハ四十以後サグル但ソレモ暗ノ時ハ斟

酌アルベシ殊ニ大ナルハワロシサリナガラ宿老入道ハクルシカラズ云武

雜記伊勢伊勢寺貞孝云御前又ハ暗ノ時火打袋ヲサゲ候事若キ人ハアルマ

シク候四十以後ハ不及御案内申上候テサゲ可申候但病者ナトハ藥

ヲ入候間若キ人モ御案内申上候テサゲ候ハン欵云後三年合戦画

法然上人行狀畫圖等ニハ火打袋其両頭ヲク、リタル躰ヲ画ケリ又

保元宇治繪卷物靜物語繪大須磨三郎繪親長卿ノ職人畫

哥合繪等ニハ火打袋上ニバカリクチアリテク、リタルサマヲ画

キタリ又火打袋ニ火打具タキ物ヲクハヘテ贈レル事ナドモアリシ、

ナルニヤ紀貫之集云モロキノ少將モノヘ行クニ火打ノ具シテ是ニタキ、

物ヲクハヘテヤルニヨメル

オリクニ打テタクヒノ烟アラバ心サスガラシノベトゾ思フ

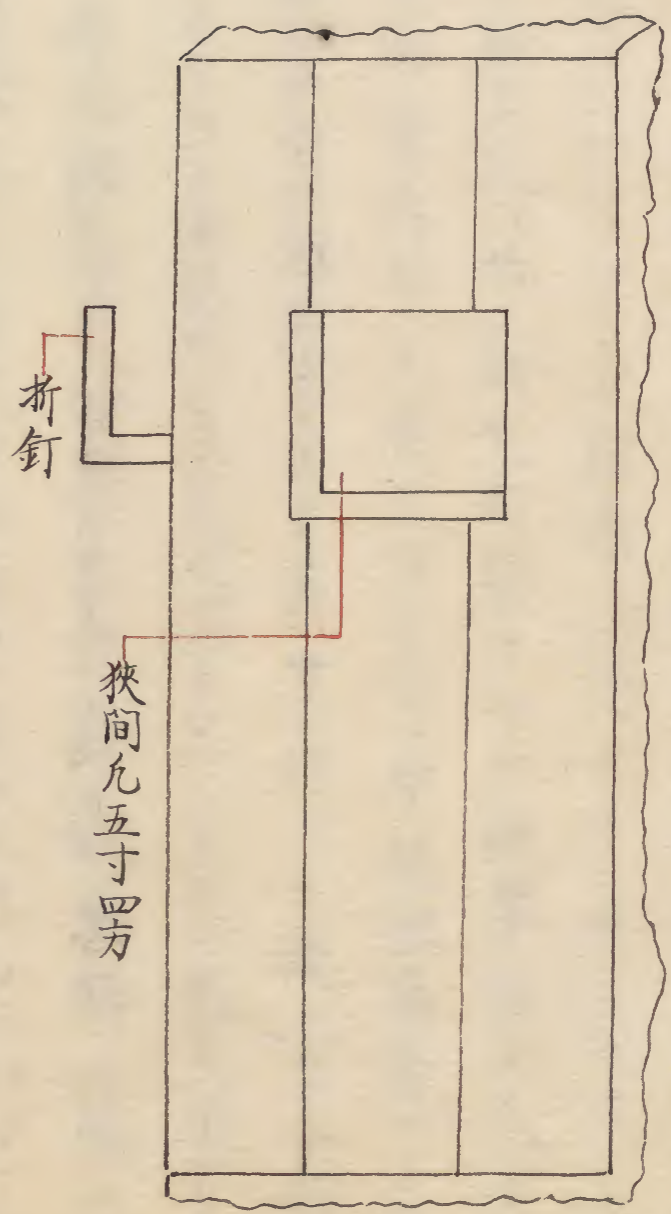
允火打袋ノ形サマクアレド両頭ヲク、リタルト上ノミク、リタルトノ二品

ハ古ヘノ物ニシテ其余ノサマハ取りガタカラニヤ

和州信貴山所藏楠正成鉄楯圖

無彩色

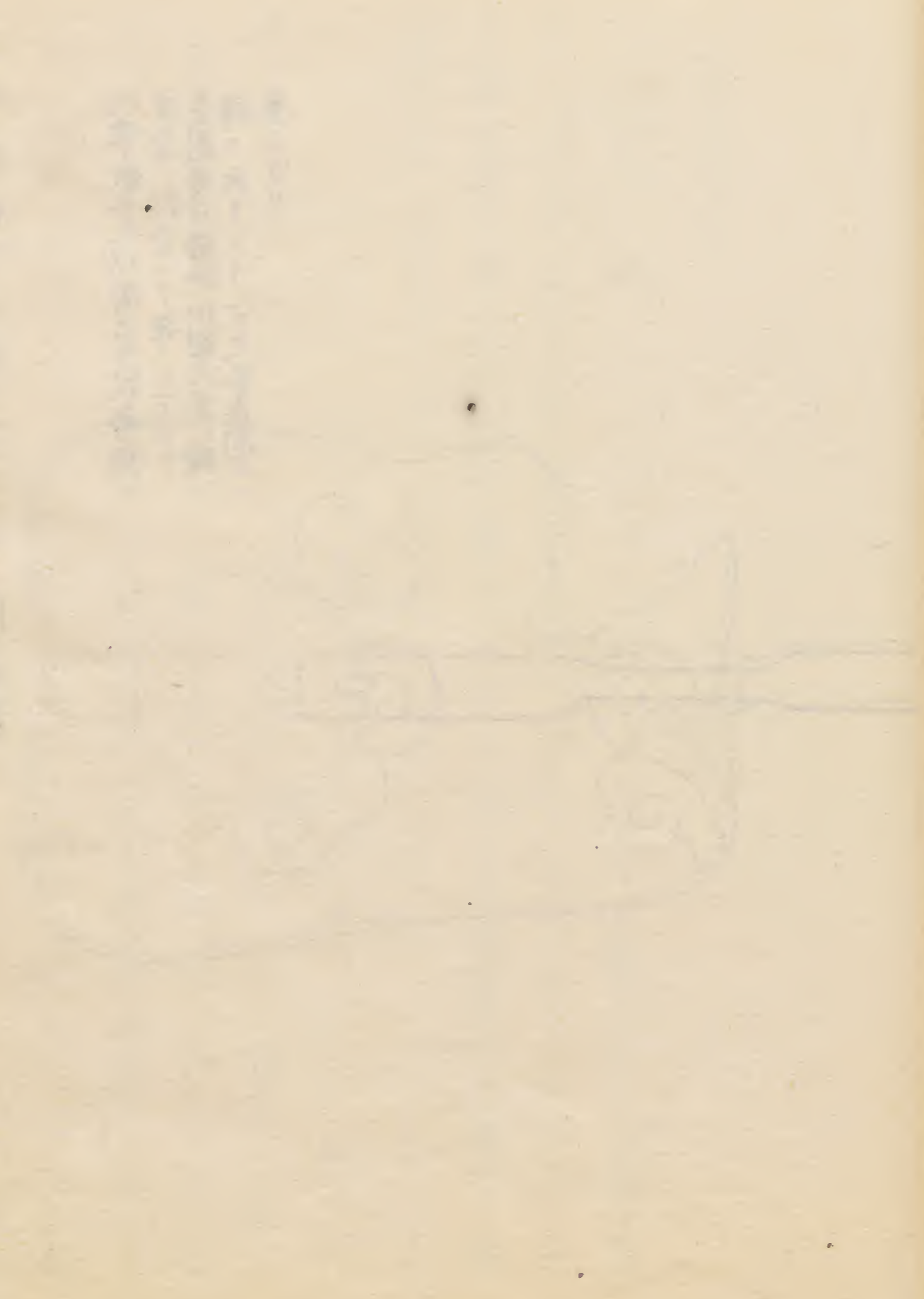
楯表裏ヨリ鉄ニテ
包タリ長三尺幅一尺
三寸ハカリ



楠正成ノ楯ハ表裏ヲ鉄ニテ包ミ狭間ヲアケタル躰ナリ凡楯ハ身ヲフ
 セク具ナルニ狭間ヲアケタルハイカナル謂ナルヲメカ、ル製ハ古キ画等ニ
 モ見エザルニヤ後三年合戦画一谷合戦繪結城合戦繪卷物等に見
 エシ楯ノ躰ハ此圖ノ楯トハ異ナルニヤ日本紀仁徳天皇紀云十二年七月
 癸酉高麗國貢鐵盾鐵的云云太平記云自大元攻日本条住吉所
 ノ神馬鞍ノ下ニ汗流レ小守勝手ノ鐵ノ楯已ト立テ敵ノ方ニ突双ヘリ
 云云是等鐵楯ノ名ハ見エシ征戰ニ
 用ヒシ微ニハナシカタカラニヤ此圖ノ楯ハ其様イブカシウシテ恐ラクハ楯
 ノ物ニハアラザルヘキ欽古ヘノ楯ハ皮楯椎木楯ヒシキ楯ナト古キ製
 ナルベシ日本紀神武天皇紀云乙卯年三月己未至草香津植盾而
 為雄誥云云又用明天皇紀云二年四月丙子毗羅夫連手執弓箭皮
 楯就槻曲家不離晝夜守護大臣云云義經記云忠信吉野山合戦条
 推ノ木ノ四枚楯ツカセヤゴロニゾヨセタリケル云云太平記云紀州龍門

山軍糸カロクトシタル一枚楯ニウツボ引付タル野伏共千餘人云々又云
赤坂城軍糸今度ハスガタヲ替テ可責トテ一回々持楯ヲハガセ其
面ニイタメ草ヲ當テタヤスク打レヌ様ニ拵ヘ云云又云畑六郎左衛門事
之糸二月廿七日ノ早且ニ己ガ一族二百餘人物ノ具ヒシノクト堅メ大竹ヲヒ
シイデ楯ノ面ニ當テカツキツレ云云

山軍糸カロクトシタル一枚楯ニウツボ引付タル野伏共千餘人云々又云
赤坂城軍糸今度ハスガタヲ替テ可責トテ一回々持楯ヲハガセ其
面ニイタメ草ヲ當テタヤスク打レヌ様ニ拵ヘ云云又云畑六郎左衛門事
之糸二月廿七日ノ早且ニ己ガ一族二百餘人物ノ具ヒシノクト堅メ大竹ヲヒ
シイデ楯ノ面ニ當テカツキツレ云云



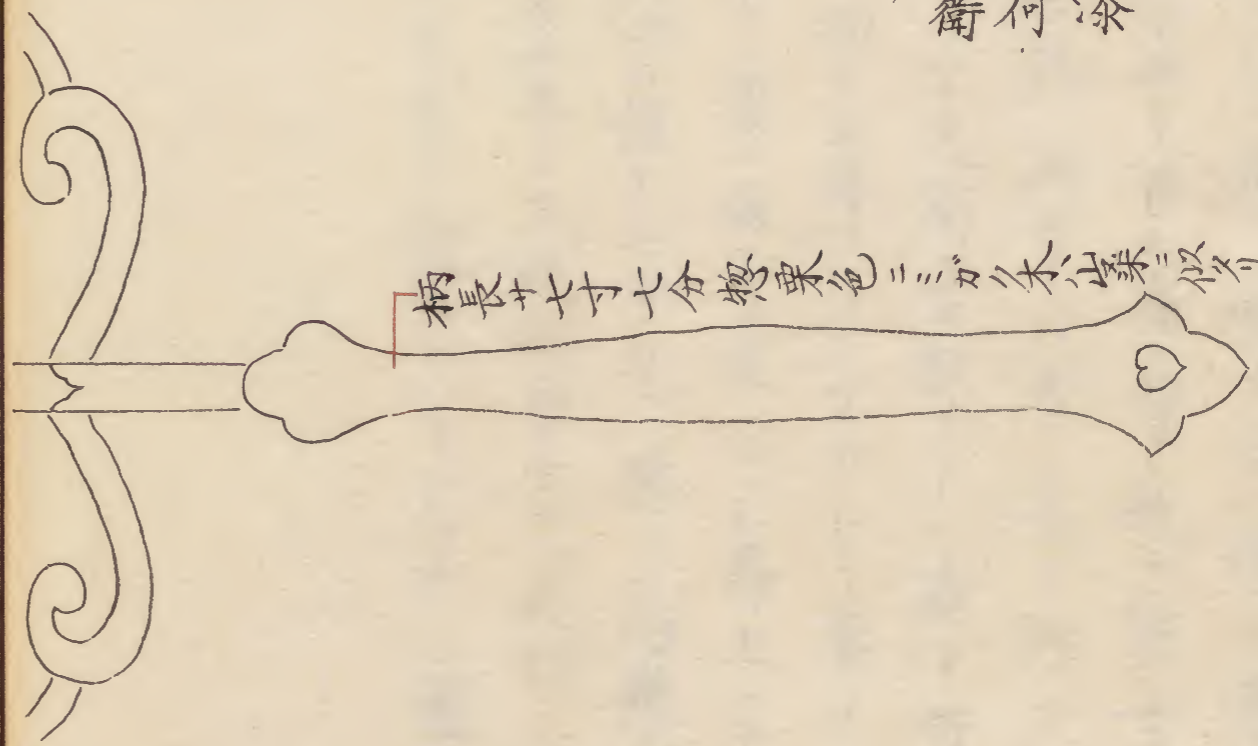
上宮太子ノ團扇ハ其様草ヲ以テ造リ南蠻ノ持ニテセシトゾ云フ此物恐
ラクハ太子ノ御物ニハアラスシテ誰人ノ物ナルヲ謬リ傳ヘテカクハ云ヘルニ
ヤサレド古ヘノ物ナラン欽凡遠キ昔ニ團扇ヲ執テ軍士ヲ指揮セシ事ナド
ハ見エサルニヤ既ニ後三年合戦ノ画等ニ武者ノ扇ヲ持タルハ画キタレド團
扇ヲ持タル躰ハ見ル所ナキニヤ又南蠻鉄ナドハ遠キ昔ニ渡来レル物ニモ
アラザラノ共ニ太子ノ御物ト云傳フハイブカシキ事ナルベシヲ法集小笠原兵
庫助長考記永徳應永比人云軍陣ニテ座中ノ團ハ扇子ニ准ズベシ馬上ニテハムナニ准ズベキ也
云云鎧着初次第小笠原信定記天文永禄比人云鎧キセ申サテ腰ヲ為懸也或ハ團扇ヲ為
持云云室町殿日記云山崎善四郎ニ主殿助要害ヘ夜打ノ事ノ条目代小濱
金左衛門六具シメテ十文字ヲ杖ニツキ弓ニ團ヲ持テ諸勢カニ戦
フベカラス云云

常州筑波社所藏小田成治團扇圖

無彩色

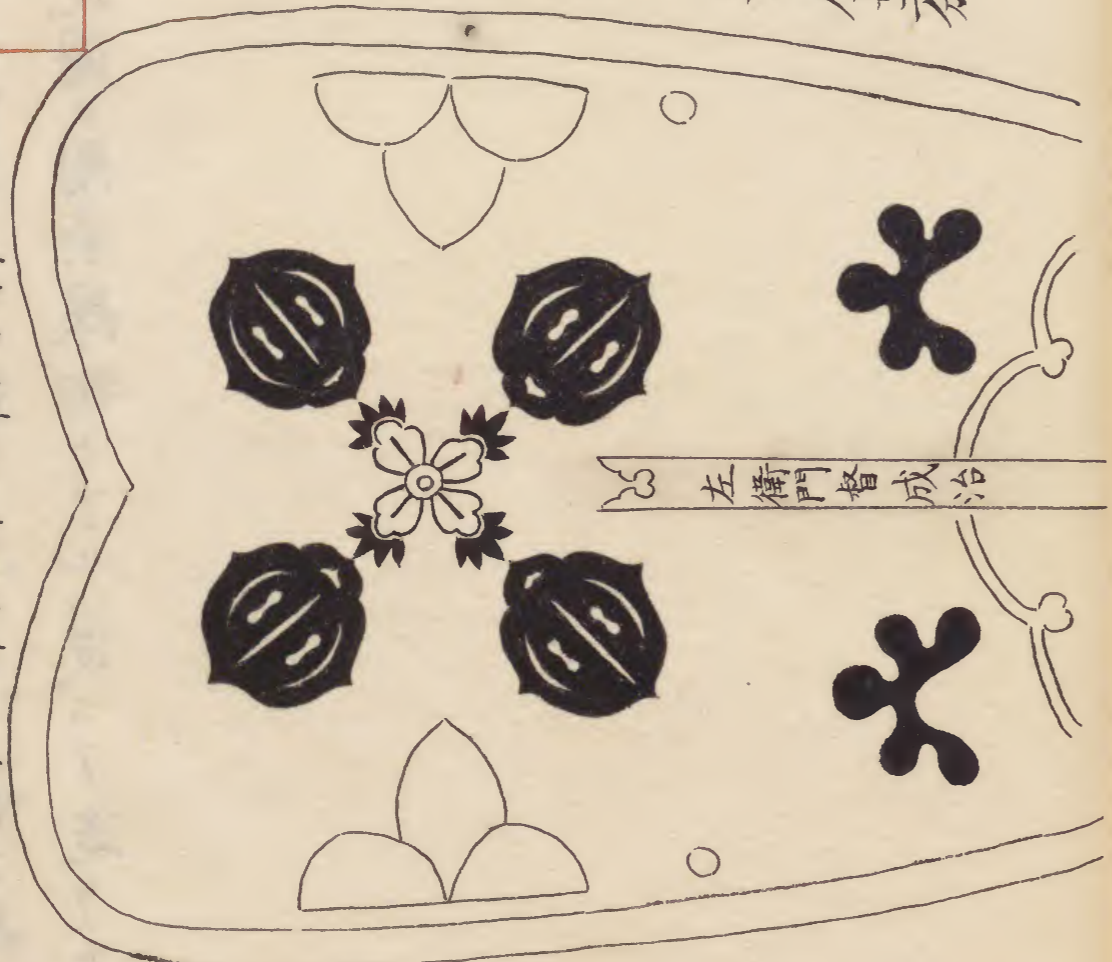
練物両面同シ文黒漆
置上惣廻リ黒筋何
レモ置上朱漆ニテ左衛
門督成治ト書ケリ

柄長廿七寸七分惣栗色ニシテカシ木ニ漆ニ修リ



堅七寸九分但真中ニテハ七寸厚サニ合

横五寸八分中程ニテ五寸五分下五寸
スソホソク見ユル



左衛門督成治

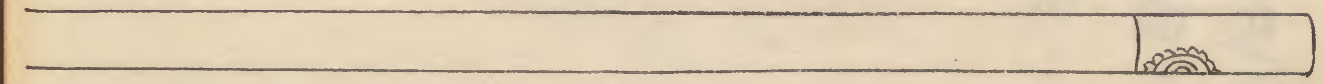
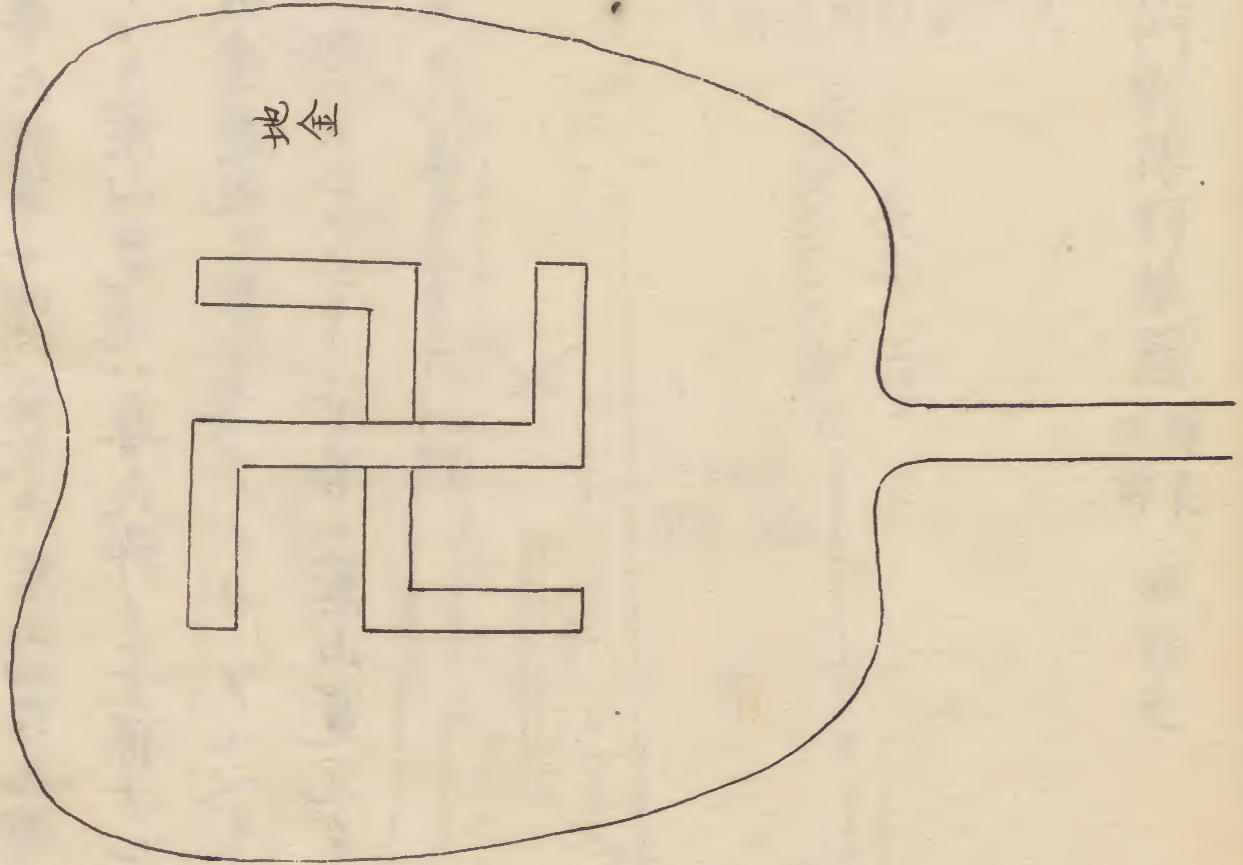
小田成治團扇ハ練物ナリ柄ハ木ナリトゾニフ此物古ヘノ制衣ナルベシ
江嶋惣別當岩本院ノ什物太田道灌ノ團扇ヲ藏メタリ其サマ草
四枚重子ヘリニテ縫ヒ合セ黒ヌリ一面ニクモノスノ如ク細筋アリ柄ハ
竹兩面合セトスヘリ此圖ノ團扇練物トアルハ皮ニテ造リ上ニ子リ物ヲ
付テヌリタラシク



常州福壽院所藏團扇圖

寸尺等原圖
脱タリ團扇
ノ制表是亦原
圖ニ脱ス柄ク
ロスリ竹ヲ合
中ニ木ヲ入キ
且卷ノ如クマク
其數二十八

裏ニ此
梵字
アリ



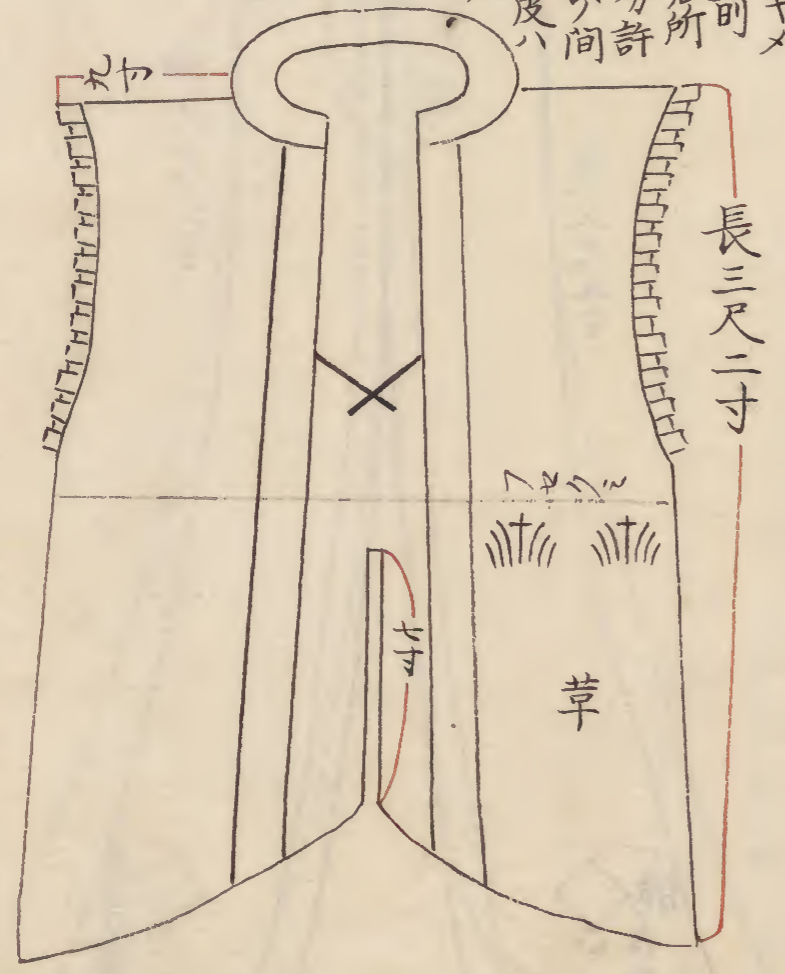
無彩色

福壽院所藏ノ團扇ハ本ニ云箱ノ上題源義家公軍配團元祿十五年壬午孟夏寄進義家公十代尊氏將軍十四代孫水戸蔭山弼兵衛寛元嫡男同八郎右衛門廣誠ト注セリト云云蔭山寛元ハ尊氏卿ノ子孫ナル事ハタカフベクモアラザレトモ團扇ヲ義家朝臣ノ物ト云ハルハイカバアルベキ前ニモ注スル如ク義家朝臣ノ比マデハ此物ハアルマジキニヤ若シ蔭山寛元が先祖ノ物ナルヲ謬リ傳ヘテ義家ノ物トカクハ注セシナラン歟

長崎勘解由左衛門尉陣羽織圖

傳來 無彩色 未詳

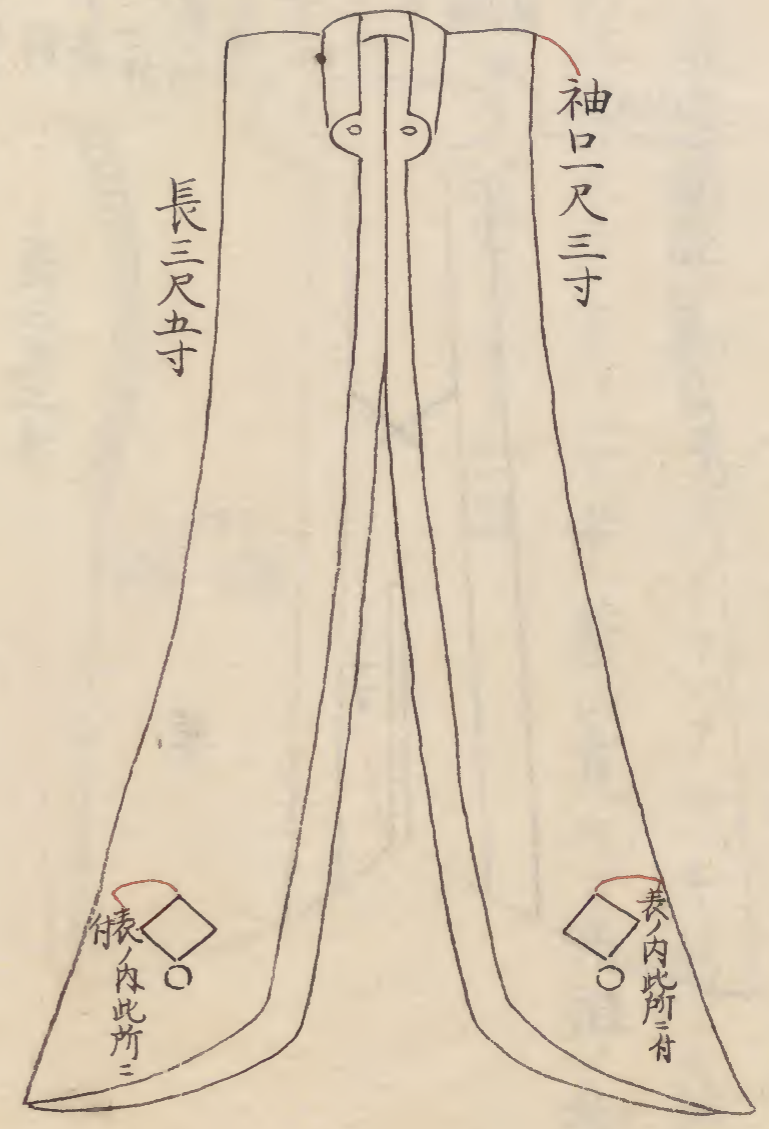
惣黒色ニテ毛織ノヤウナル物腰ノ所許ニ皮ヲ重子トゲ付タルナリツギメニ上下其フセグミアリ前後同シ袖ノケシノヤウナル所ハ皮ヲ幅四分許豎七分許三四枚一所ニ重子表裏ノ間々ニトゲ付テ金ダミニスル皮ハナメシニテウスキ皮也エリハ合羽ノエリノ如クニテ二寸ホドニ丸シ紐ハアイ草長サ九寸許幅三分許結ヒ用テト見ユボタンガケナシ



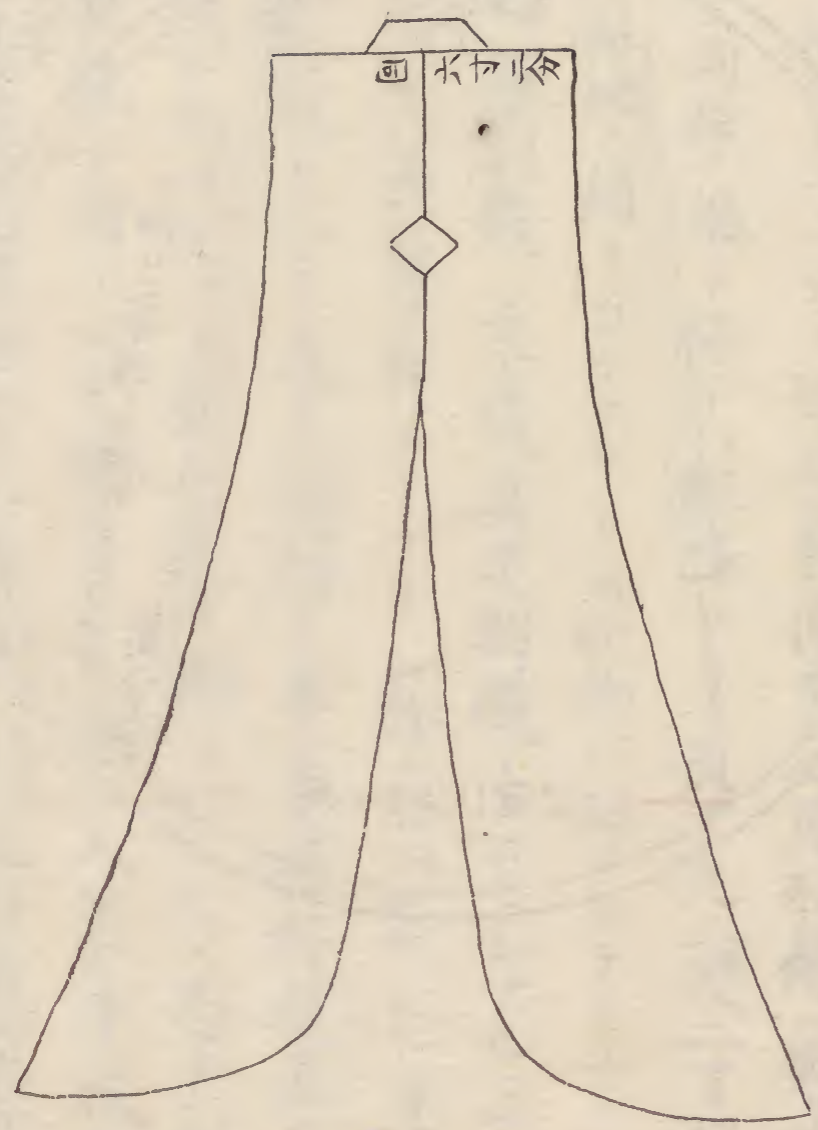
日根備中守治部卿法印陣羽織圖傳來未詳

羽織制衣ノ事
原圖ニ脱々

前



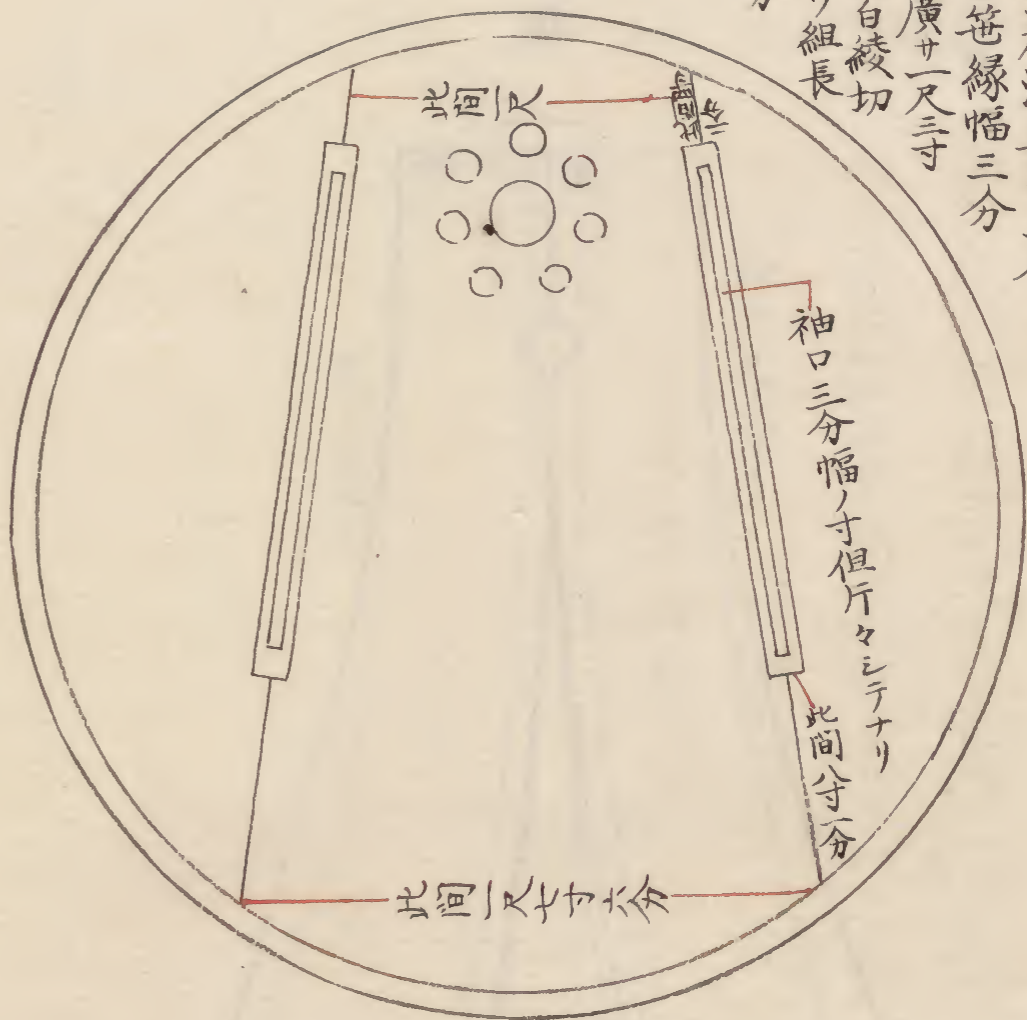
後



伊勢社人所藏九鬼氏船手陣羽織圖

彩色

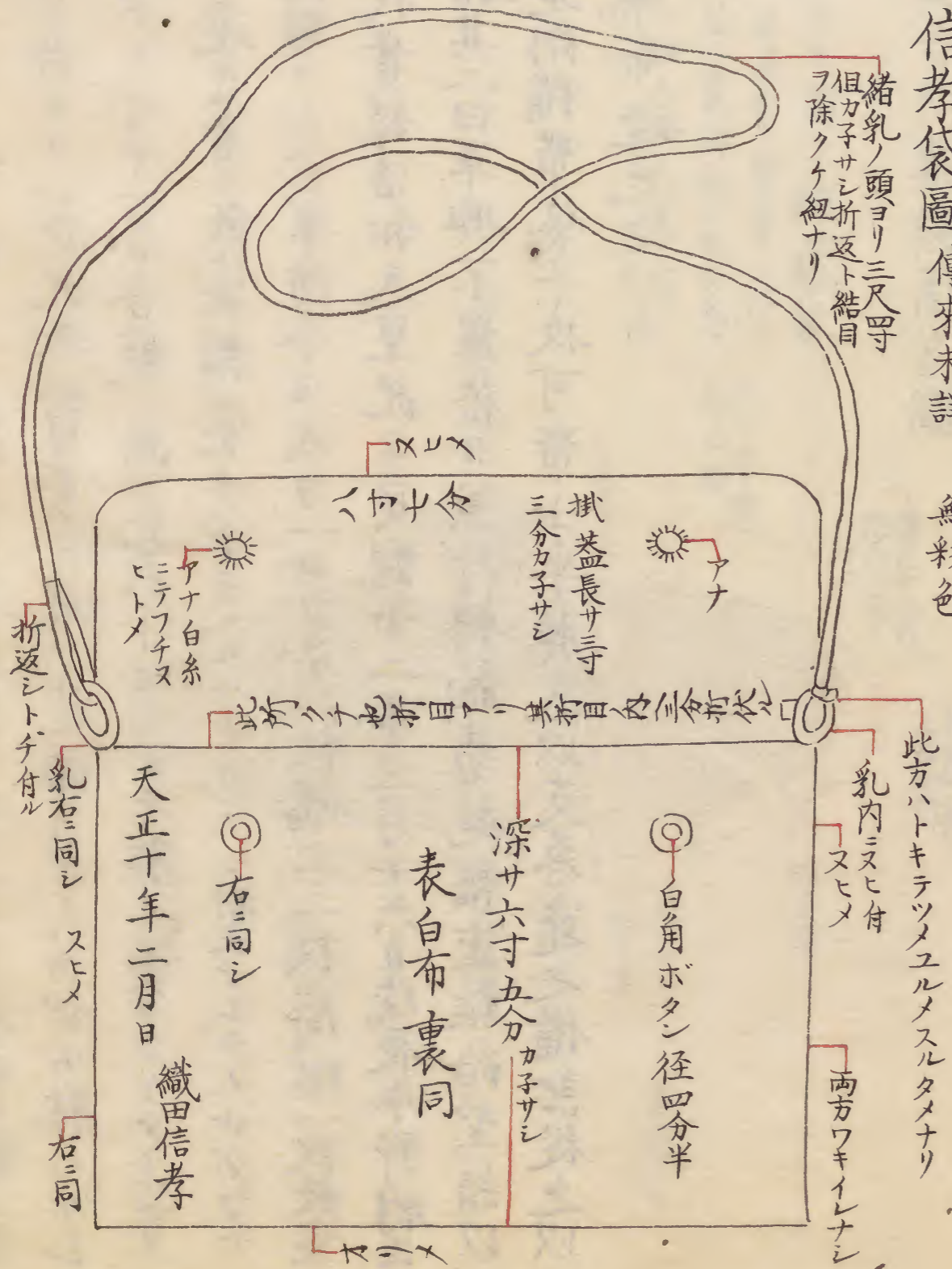
緋羅紗差渡長サ二尺
九寸圓白笹縁幅三分
袖口同シ廣サ一尺三寸
八分紋所白綾切
付紐紫ニツ組長
サ五寸八分



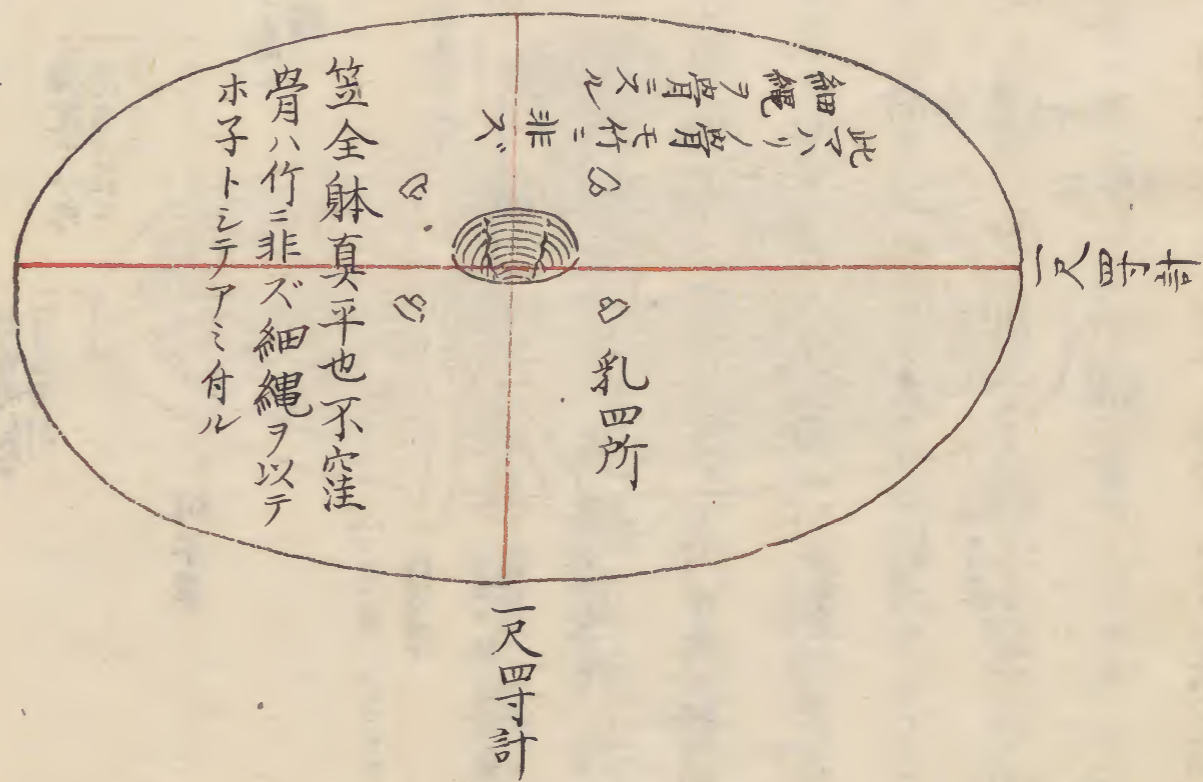
長崎勘解由左衛門尉陣羽織日根備中守治部卿法印陣羽織九鬼氏
船手陣羽織共ニ袖ナキサマナリ那須家傳來之陣羽織ハ惣地白麻三類
ニテ地糸フトシ白地ニ兩袖ノ端ト裾トハ緋染ナリ長サ九二尺二寸四分計廣袖
ニテ袖幅一尺許襟ハ緋地ノ錦ヲカケタリト云此物ハ袖アルテイナリ袖アルモ
袖ナキモアリシナルベシ陣羽織ハ本儀具足羽織ト云ヒシナルニヤ此物天文
永祿ノ比ヨリ聞ユラシク猶以前ヨリアリシ物ナルベシサレド其以前書ニ
見ル所ナキニヤ室町殿日記云義長調物之事条得好便差下申候其
元無為ニ御座候哉如何心エナク候仍先日御アツラヘノ馬大総鞆象眼
ノ鐙ニ掛并具足羽織十調下シ申候イツレモ念ヲ入サセ申候御請取可
在之候猶期重便之時候恐惶謹言六月二日天文十三年ナリ三好筑前守殿猶村市
右衛門長高又云アツラヘ物ノ事条幅給十掉木綿羽織登セ申候
則注文クハ申候書付ノ通り染サセラレ候テ可給當月中ニ出来候

様ニ頼存候恐惶謹言七月二日脇屋惣左衛門殿細川^典厩判云云既ニ前ニ注
 スル長崎四郎左衛門尉モ天文永祿比之人ナリト云フ又具足羽織ヲ鷹野羽
 織ナド云ヒシ事モアリシナルニヤ足利季世記ニ好下野守討死糸畠山
 ノ内ニ宮崎隱岐ト云兵アリ三筒ノ城ニ物見ヲ遣シ此躰ヲ見ウケテ則高
 政ニ告ケ奉リヒソカニ勢ヲ出シ雪野ニ鷹狩ト被露シ各鎧ノ上ニ鷹野
 羽織ヲ着テ犬ヲ引テ出ラル云云具足羽織ヲ鷹狩ト用シ故ニカクハ唱ヘ
 シナラン歟

織田信孝袋衣圖 傳來未詳 無彩色



裏



東大寺綾藺笠ハ太キ藺ニテ編ミ作ルトゾ云フヤ軍防令云太刀一口
 刀子一枚礪石一枚藺帽一枚飯袋一口云延喜内藏寮式云藺笠四十六枚
 和泉云御即位
 國調云科ナリ又云檳榔馬蓑六十領同蟬蓑百一十領藺帖笠百三十
 蓋右太宰府所進云云又安御即位調度圖云笠四藺笠上昔檳榔云云
 西行談抄云上ノ句平懐ナレ氏カヤウニヨキ歌モアリ但歌ニヨルベシ大カタハ
 上下ノ句首尾相叶テ候其風躰ナルベキ上下不相叶ハタトハ鷹將ノ
 野ニテ者ヲタカツキニシタルヤウナル事ナリ所ニシタガヘハ綾藺笠ノ端ニ
 搔イ置テウリナスビラサカナニスルナリ云云今昔物語云東國人過花
 山院御門無礼語年廿餘許ノ男鬚黒ク鬚ツキヨク顔少面長ニ白ク形
 ツキクシ綾藺笠ヲ著タリ云云宇治拾遺物語云信濃國ツクマノ湯
 觀音沐浴条年三十許ノ男ノヒゲクロキガ綾藺笠キテフシクロナ
 ルヤナクヒ皮マキタルヲモチ云云梅松論云少貳頼尚ハ旗ノ横紙ニ綾

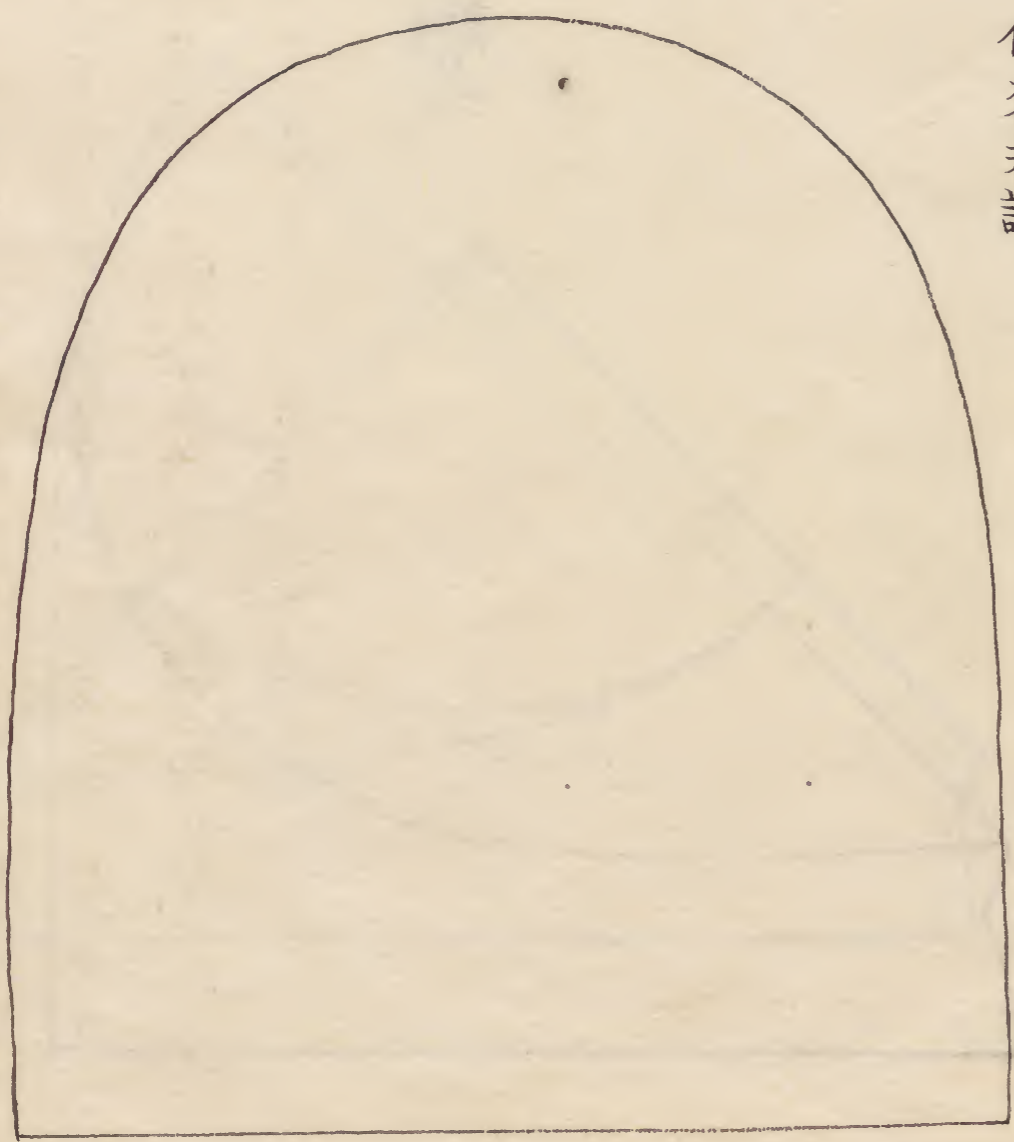
藺笠ヲ付タリ云々十畧圖前九年合戦後三年合戦繪卷物等ニ武者ノ
 綾藺笠著タルサマ笠ノ色黄ナルモ又萌木ナルモアリ笠ノ頂上ニ角ヲ造リ
 シハ古ノ人ハ惣髪ナリシカ故ニ頂上ニ髻アレバ此角ノ中へ髻ヲサシ入ベキ為ニ
 マウケタルナルベシ親長卿ノ職人畫歌合ノ繪ニ田樂法師此笠ヲキタル
 躰ヲ画ケリ頂上六角ナキサマナリ是法師ノ故ナルニヤ

此笠ノ形ハ古ノ繪卷ニ見ユル所ナリ其ノ形ハ今ノ藺笠ニ似テ頂上ニ角ヲ造リシハ古ノ人ハ惣髪ナリシカ故ニ頂上ニ髻アレバ此角ノ中へ髻ヲサシ入ベキ為ニマウケタルナルナルベシ親長卿ノ職人畫歌合ノ繪ニ田樂法師此笠ヲキタル躰ヲ画ケリ頂上六角ナキサマナリ是法師ノ故ナルニヤ

古折烏帽子圖

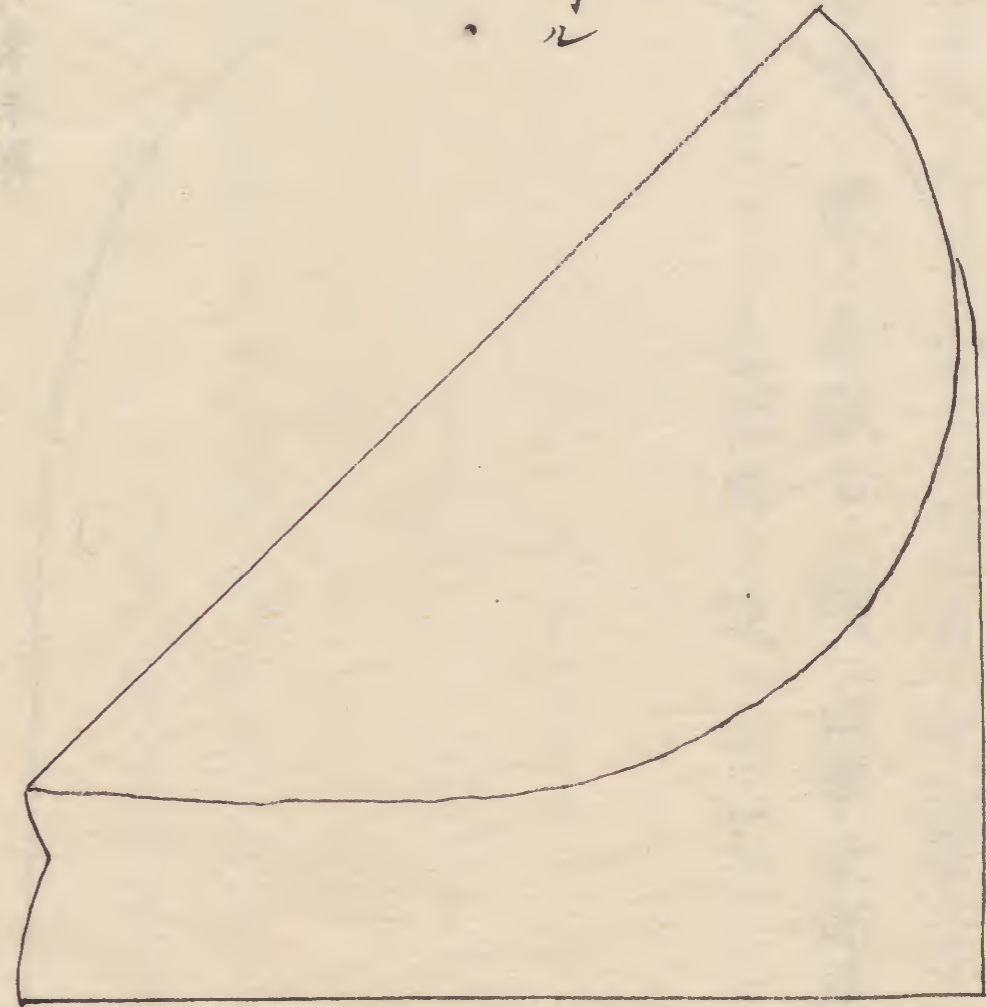
傳來未詳

本躰



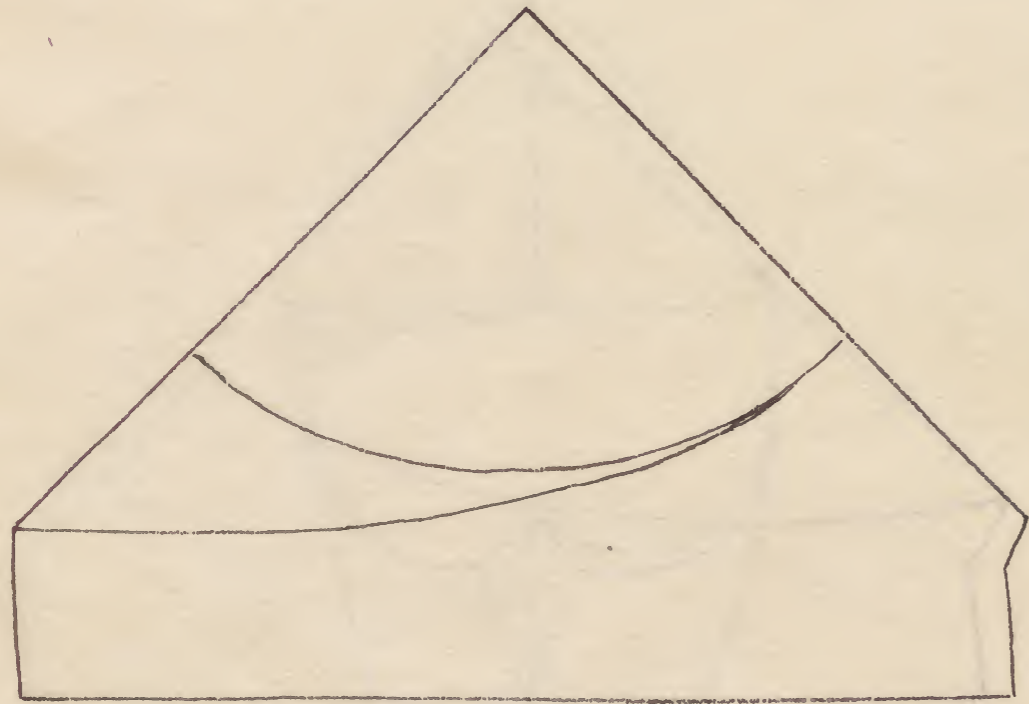
一番

左工折ル

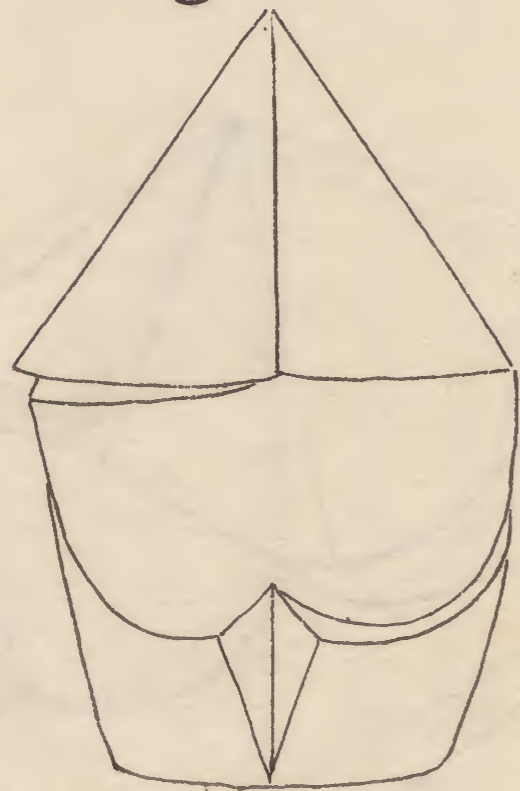


二番

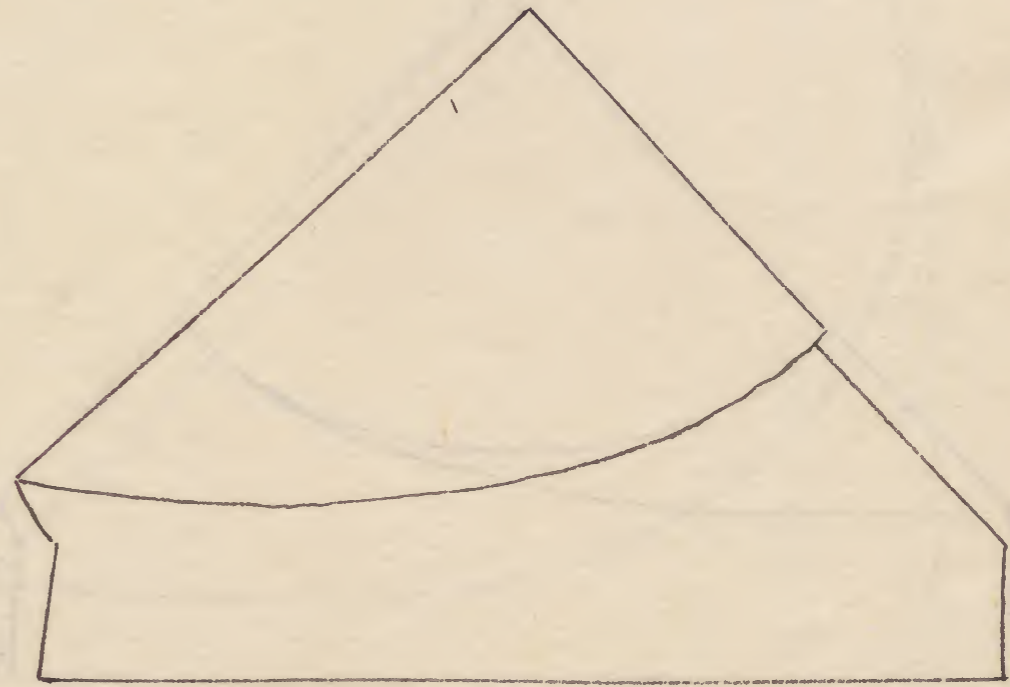
右工折ル



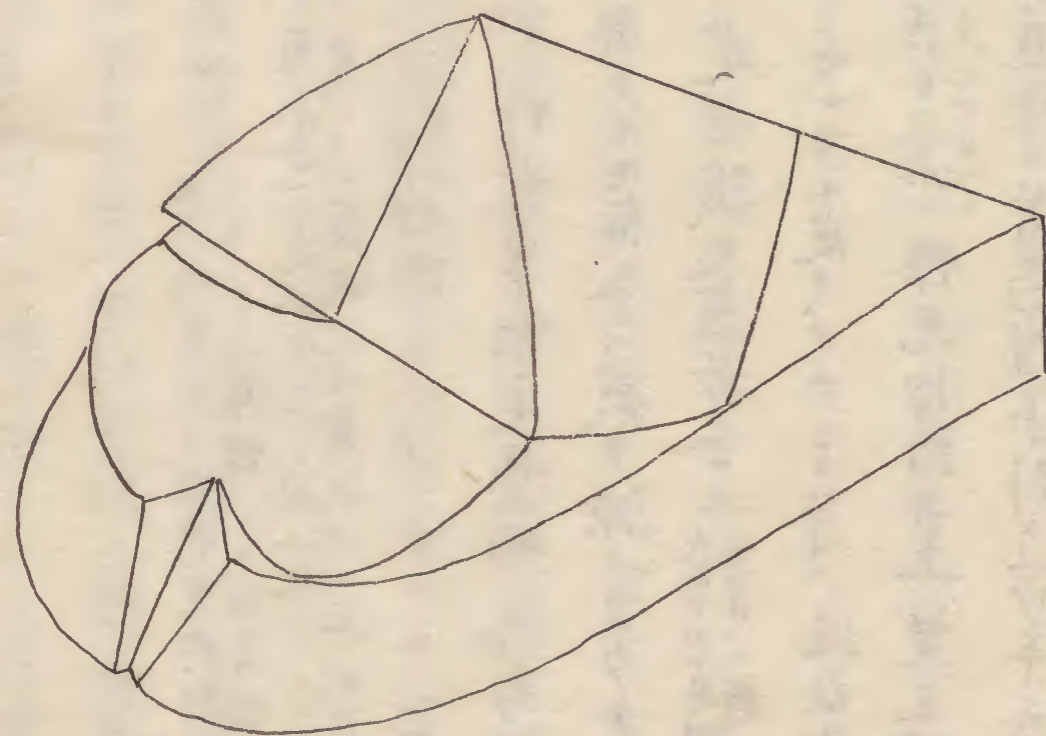
三番
正面ヲ折
成乾也



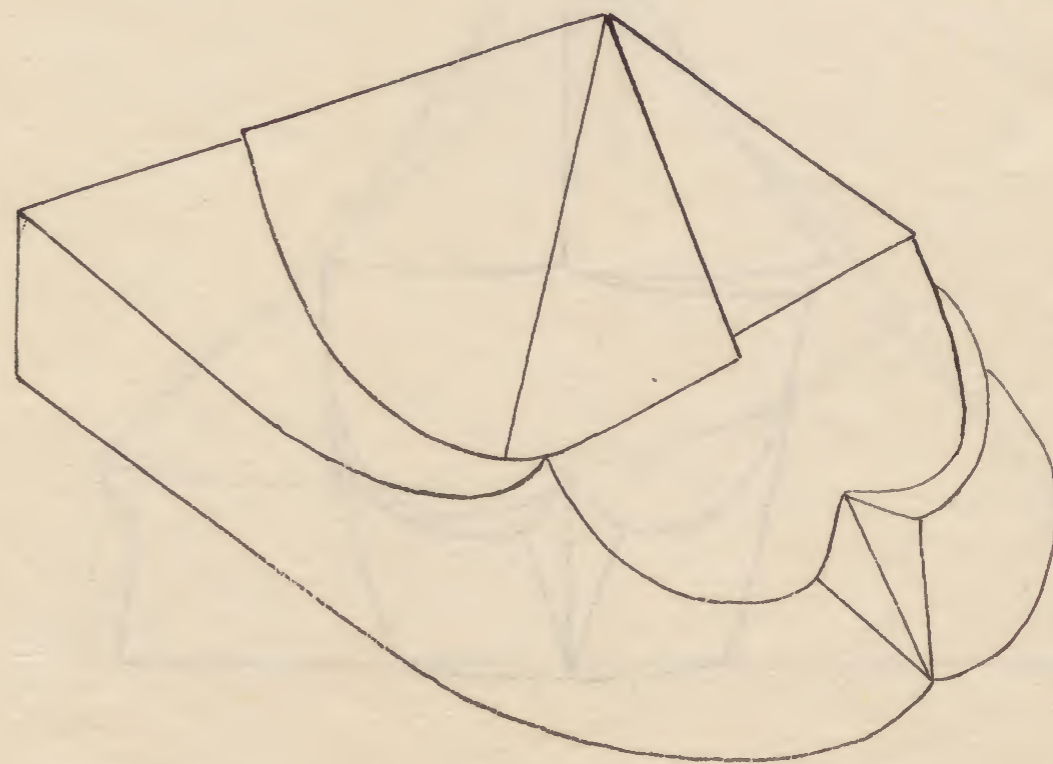
同前
左ノ側



同前
左ノ側



同前
右ノ側



傳來末詳古折烏帽子ハ其サマ京極折ナド云ヘルヨリハ猶古ヘノ形ナラニヤ
後三年合戦画ニ武者ノ著タル折烏帽子ノ躰ニ似タラシク折烏帽子今ニ
子ト云本儀ハ元立烏帽子ヲ折タルヲ云ヘルニヤサレバ折烏帽子ト云ヒ又

折烏帽子引立ナド云ヘルハ此故ナルベシ源平盛衰記云頼朝重衡對面糸兵衛佐シテ
云永仁布衣記云調度掛ノ事立烏帽子ニ萌木色ノ走水干上下同シ色ク、リヲ上ケ又云中間
ノ事折烏帽子小結常也漆直垂ニ大帷ヲ童子云云薩戒記云應永世二年九月十日上皇御幸
東山泉涌寺布衣隨身一人ニ藍上下紅衣
白生草細烏帽子常雜色立烏帽子也云云 凡古ハ烏帽子ヤハラカナリシガ故ニ立エホシ

ヲ折リテ用ヒシナランニヤ新野問答云野宮宰相定基卿説烏帽子ハモト帽
子ニテヤハラカナルベク候昔ハ給ヲ用タルモ候今ハ紙ヲ漆ニテカタメ申候古ルキハ
ヤハラカニ候ヘハ自由ニナリ申候云云建保職人盡哥合大字也烏帽子云折目ノ題 八番左

ワガヤドノエボウシ給ライカニセンヌル夜スクナキ月ノ比カナ

建保ハ順徳院ノ御宇ナリエボウシ給トハ烏帽子ヲ作ル
給ナルニヤ給ニテ袋ノ如ク縫テウルシヌリタルナルベシ 保元物語云上皇三條殿へ御幸糸
義朝ヲ御前ニメサル赤地ノ錦ノ直垂ニ折烏帽子引立ワキステ許ニ太刀

帶タリ云云又云官軍方ノ手分糸モトモリ宇治へ向フニシラアヤノ狩衣ニ淺

黄糸ノ鎧ニウハオリシタル烏帽子云云平治物語云待賢門軍糸清盛ヲ召レ

ケリ緝ノ直垂ニ黒糸威ノ腹巻ニ左右ノコテヲサシテ折烏帽子引立テ云云

人事記云高松殿武士被召集平清盛朝臣緝水干小袴紫皮鎧中畧頼政

以下思々多者緝水干小袴或立給皆鎧折烏帽子髓當草貫著云云山槐

記云治承二年正月廿三日糸辰刺凌大雪自中山堂參鞍馬寺於美曾

呂坂逢右少將維盛朝臣折烏帽子著直垂侍五人騎馬云云源平盛衰記云

額打論糸若狭守經盛朝臣ハ折烏帽子ニ由ラ著ス云云又云重衡京

入糸重衡ハ緝村緝ノ直垂ニ練貫ノニツ小袖ヲ著ラレタリ折烏帽子ヲ

引立タマヘリ云云義經記云住吉大物ニケ所合戦ノ糸片岡白キ直垂ニ

キシラ地ノ鎧キテワザト甲ハ著サリケリ折烏帽子ニエホシガケシ云云續

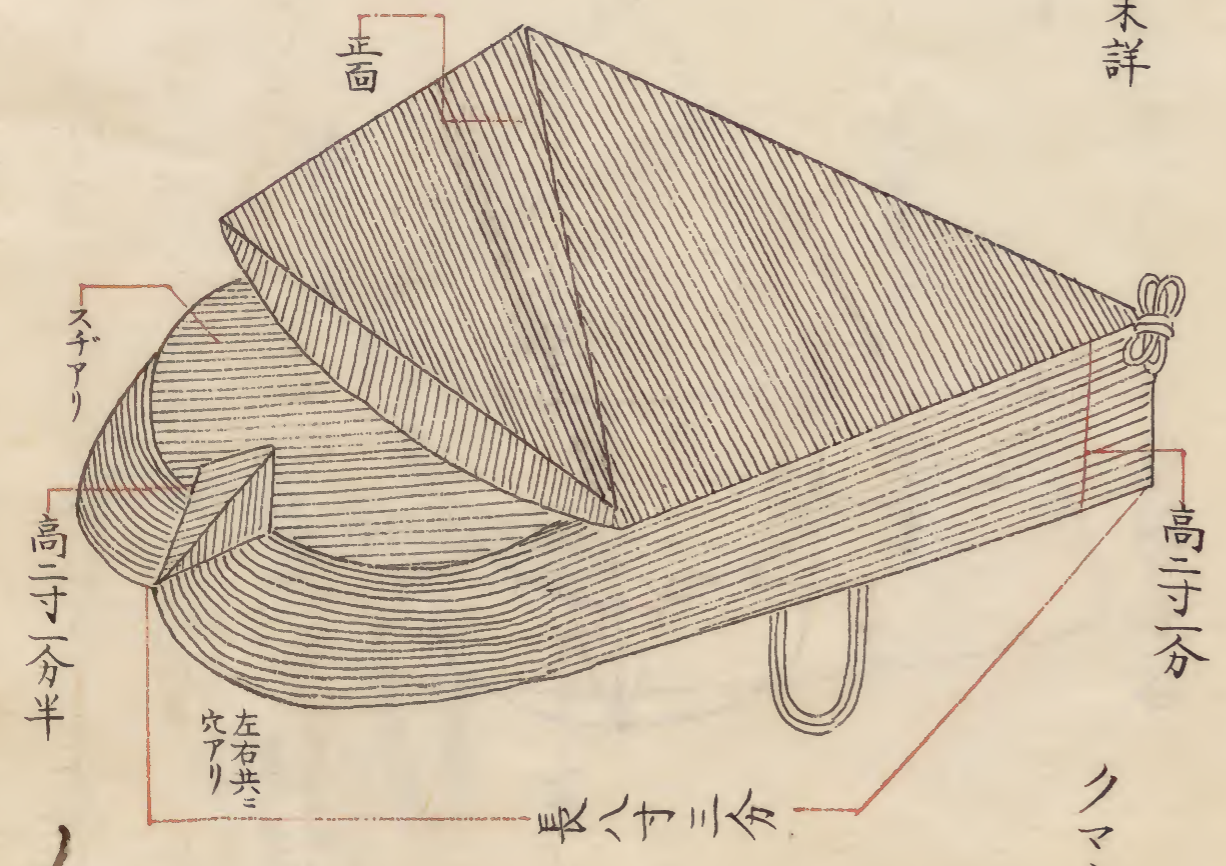
世継物語云ハナノアルジノ篇此大将殿ハコトノホカニ衣文ヲゾ好給給ヒ

テウヘノキヌナドノナガサミジカサノホドナドコマカニシタメタマヒテ其道ス
 グレタマヘリケルオホカタ昔シハカヤウノコトモシラテサシヌキモナカフミテ
 烏帽子モ剛ク涂エコトモナカリケルナルベシ此比コソサビ烏帽子キラメキ烏
 帽子ナドオリクカハリテ侍ルメレ云々
大將殿ハ花園左大臣有仁公ナリ保安二年權大
 納言後右邊衛大將長承四年左大將轉佐保
 安ハ鳥羽院ノ御宇長承ハ崇徳院ノ御宇ナリ
 此比ヨリエホシモコハクヌル事ニナリシナルニヤ

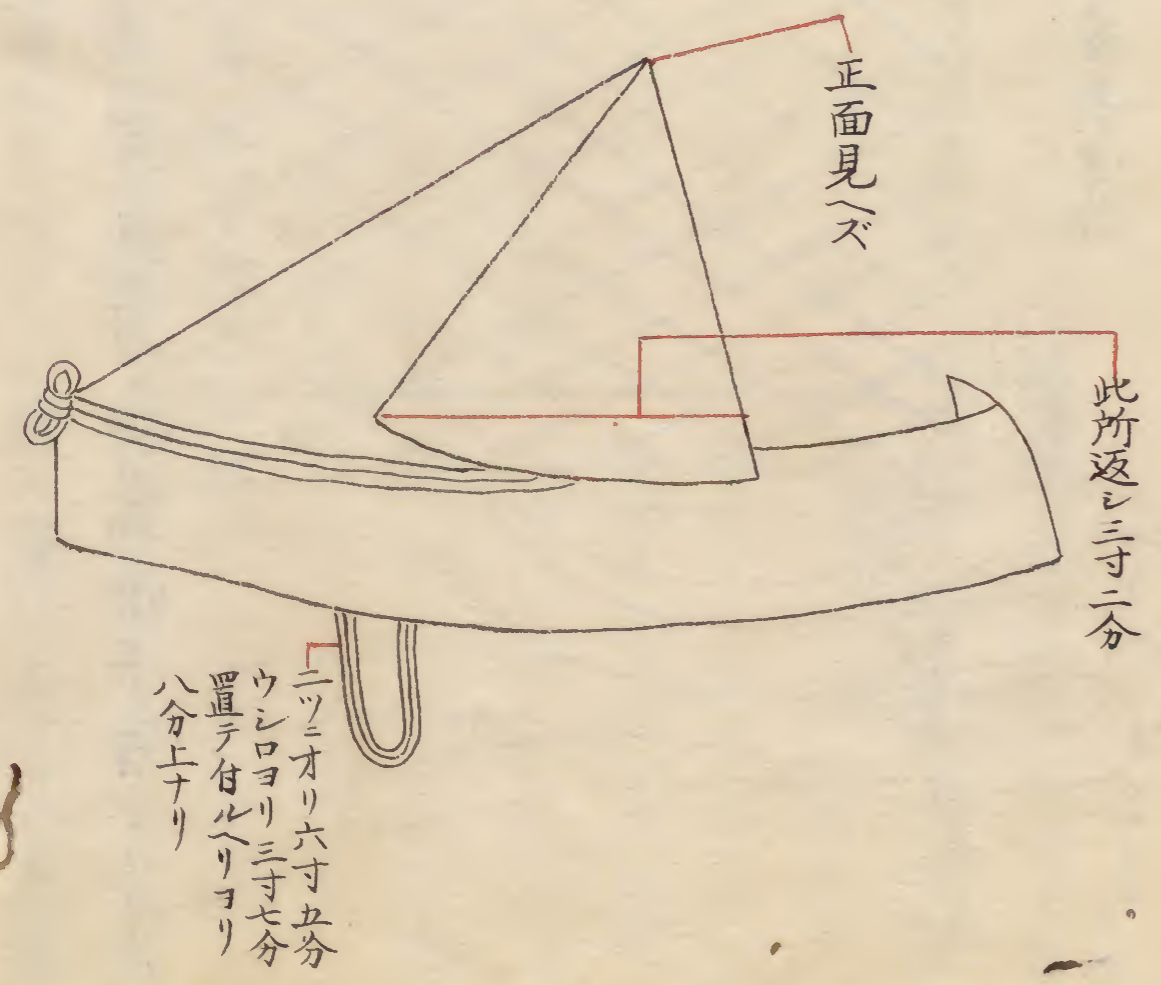
[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

古折烏帽子圖別式 傳來未詳

左側



右側

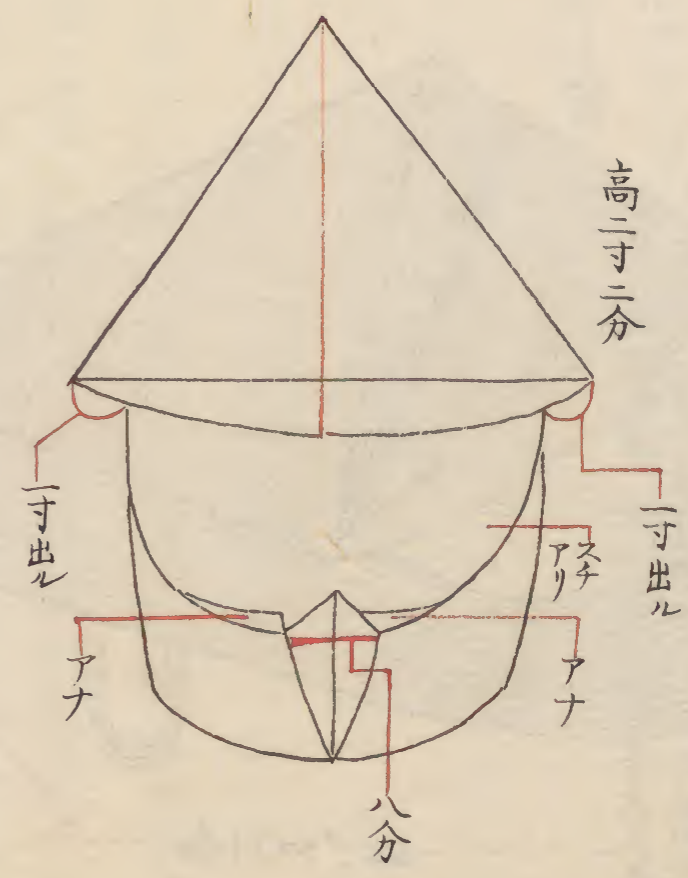


小結白黒ニテ
一寸マダラナド
ミラ類ヒニヤ



一寸
フトサ是ホト
三分カリン
六分

正面



高二寸二分

一寸出ル

一寸出ル

アナ

アナ

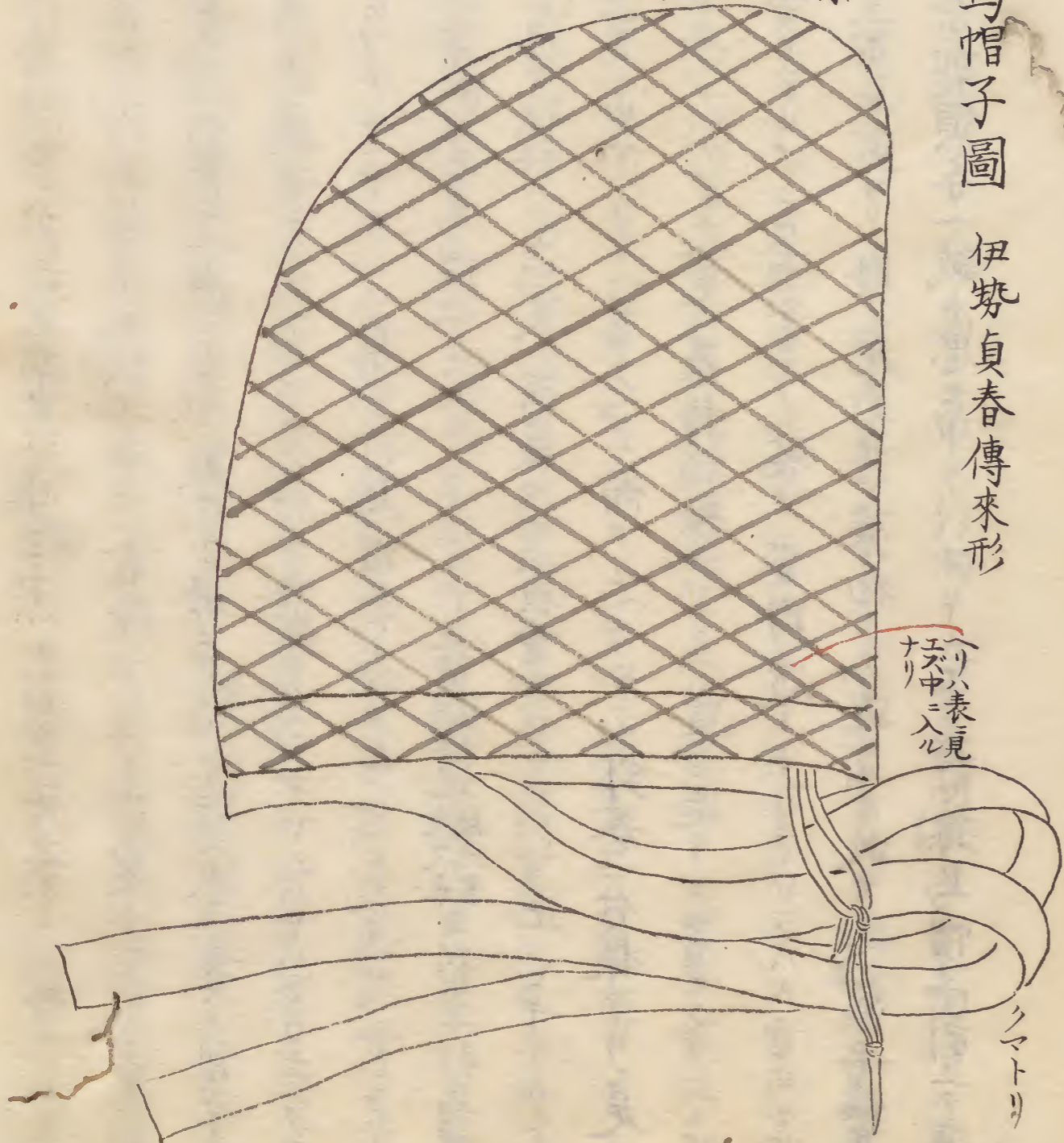
八分

傳來未詳古折烏帽子別式ノサマハ前ニ注スル折烏帽子トハ形少シカハ
 リアルニヤ又京極折トハ別ナラン歟是モ亦古ノ一種ノ製ナルベシ十畧圖
 保元平治繪卷物西行記繪卷物等ニ武者ノ折烏帽子著タルガ此
 圖ノ折烏帽子別式ノサマト相似タルナランニヤ

梨子打烏帽子圖

伊勢貞春傳來形

表綾フシカ子深
 裏ウスヤウヲ重
 子打ナリウルシヌル
 鉢巻エボシノ前
 方付ルリハ表ト
 裏トノ中折重
 子テアツクスルナ
 リ



ハリハ表見
 ナリ中ニ入ル

クマトリ

伊勢貞春傳來形梨子打烏帽子雛形別ハ京都將軍家ノ比用ラレシヲ
摸傳ヘシトソニラ梨子打烏帽子一名菱鳥帽子ノサマハ表綾フシカ子漆裏ウスヤウ重子打
トソニラ梨子打ト云ヘルハ梨子ノ字ハ字ヲ假リテ用ヒタルノミニテ木ノ實ノ梨子ノ
義ニハカ、ワラヌナラシクナシウチトハナヤシ打ノ略語ナルベシナヤシハヤハラカナルヲ云
ヒ打ハ造レル事ヲ云フナルニヤサレバ梨子打烏帽子ト云ヒシナルベシ又其サマヤハラカニ
シテモミタル如クナルガ故ニ菱鳥帽子氏云ヒシナルニヤ兵具雜記天文永祿比書云梨子打烏帽
帽子事地ハ綾フシカ子五倍子ニテ漆裏ハ薄様ヲ二三枚重テカキカキシフナリヲ上ニヒキテウルシ
ニテヌリ裏ニ付ルナリ少ヤハラカニコシラヘテ緒アルベカラス鉢巻ニ付様アリ是ハ
甲ノ下ニ着スベキタメナリ云々又是ハ羅精好紗ナドニテ單ニ造リテ用ヒタラシヤ
十界圖ニ武者ノカブリタルナシウチエボシノ躰ナルガ内透トホリテワラハノユヒタルサ
マ見エシヲ画ケリエボシノ上ヨリ内ノ見エルサマ薄物ニテ造レルガ故ナルベシ源平盛衰
記云屋嶋合戦糸那須与一誠ト思ヒ甲ヲバヌキ童ニ持セ搦烏帽子引立テ薄

紅梅ノ鉢巻シテ手綱カイクリ扇ノ方ヘズ打向ケル云々長門本平家物語云黒
俣合戦糸褐衣ノ鎧直垂ニ 草威鎧着テモミ烏帽子ヒキ入テ惡土佐云義經
記云書寫山炎上糸カケシノ直垂ニ黒糸威ノ腹巻キテ九十日ソラヌカシラニ
菱鳥帽子ニハ鉢巻シ辨慶云ナリ云々法集小笠原長秀記云大将物具キセ申事第一ハイダ
テケシヤウバカマ第一ニコテヒタレ第三ニワキダテ第四ニ鎧第五ニ箆上帶第六
ス子アテ第八ニ梨子打也ナシウチ云々鎌倉年中行事云御社參ノ時辻
固小侍所鎧直垂矢負弓ヲ持ナ梨子打シウチ烏帽子廿騎赤橋ノツメ左右ノ置
石ノ際ニ唐櫃ニコシラカケ云々耳露寺親長卿記云長亨元年九月十二日
今日源朝臣義尚進發江州佐々木六角御退治云々公家輩高倉
藤中納言入道常祐俗名永繼鎧直垂カケテ無地馬上日野政資朝臣鶴元縫物鎧直垂諸大夫二人各
着鎧直垂云々義尚公江州御陣着到次第云常德院殿御勤座之御
出立事既ニ御所様御成在也中畧其次ニ雜色ノ男共十人計梨子打烏帽

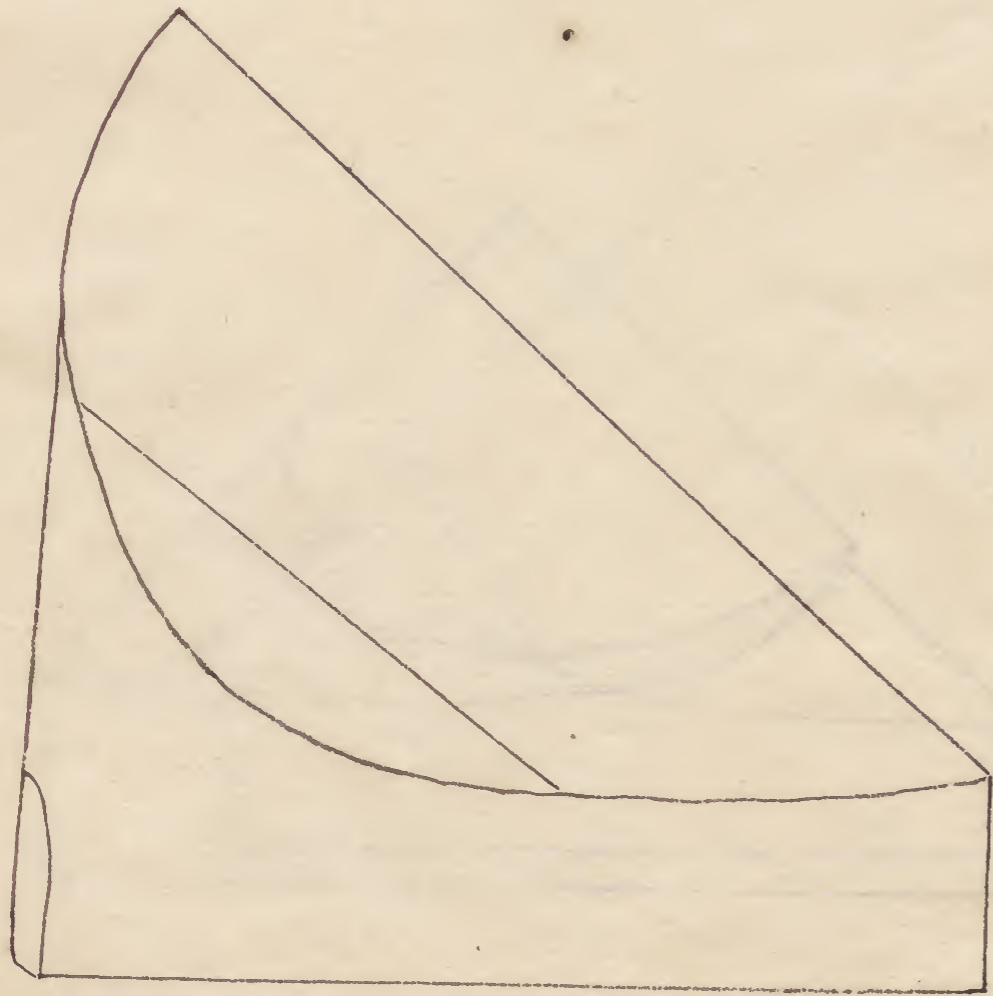
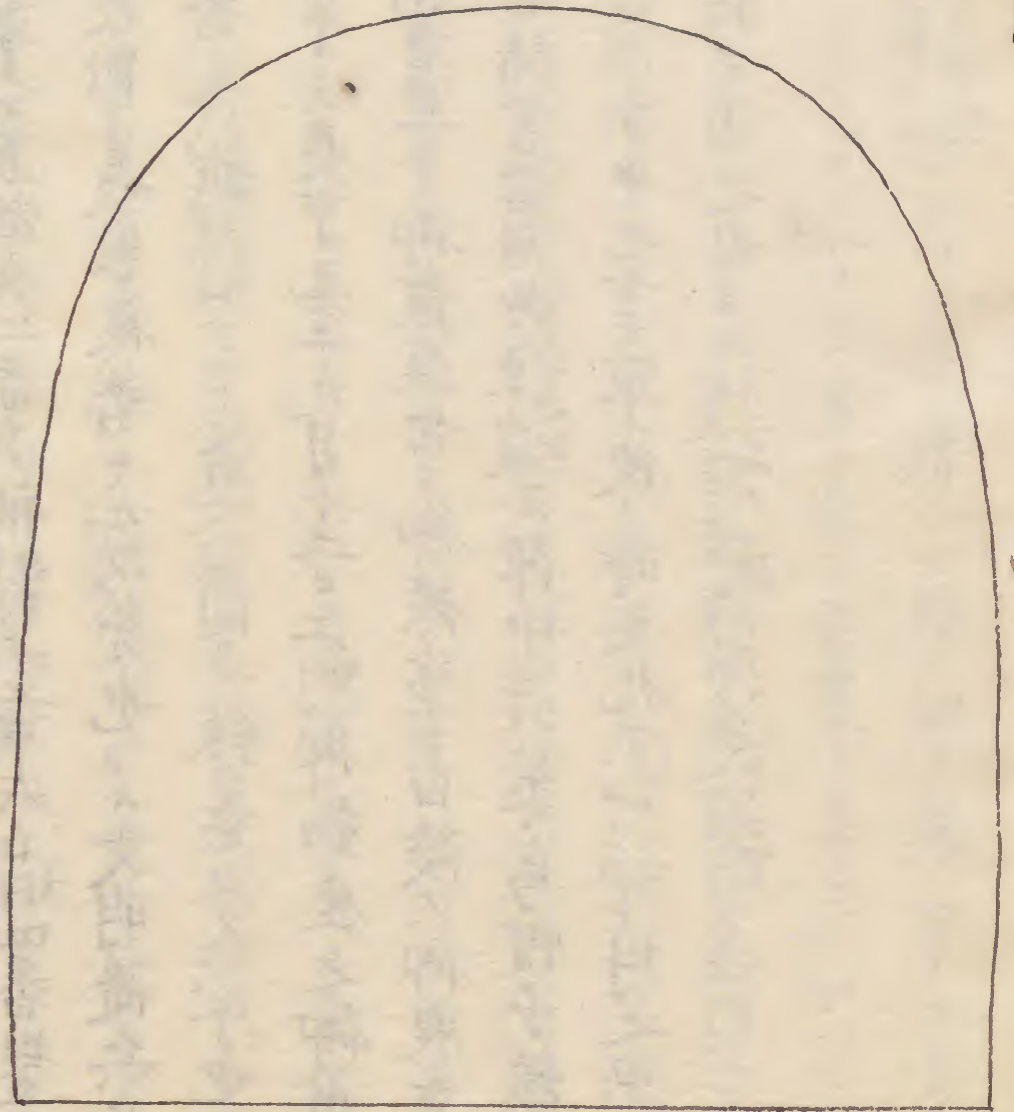
伊勢貞春傳來形引立烏帽子雛形別ハ京都將軍家ノ比用ラレシヲ摸傳ヘシトソニ在之
云フヘリヌリ烏帽子一名縁塗ノ烏帽子氏ノサマハ立烏帽子ノ躰ニ似テ後ノ方ノカドヲトガラセテ
引立タルカ如クシテヘリヲ付ルウスヤウヲ重テ造リ表裏トモウスクヤハラカメニ造リ大
サヒヲ打テウルシヌリタルトゾニフサレバ引立烏帽子又ハ縁塗烏帽子氏云ルナルニ
兵具雜記天文永祿比書云引立烏帽子カドヲ上ヘ引立テ拵ベシ引立トハ方ノカドヲ引立トカラスルヲ云ヘルニヤ地ハ立飲烏
帽子ノ大サビノ如シ大サビトハウスヤウヲ重テ造リウラウチテウスクヤハラカメニ造リサビハ大サビニテヘリヲヌリタルヲ云ヒシナルニヤ云ステヘリヲ付テヌリタルハ何エホシテモヘリヌリケレ
軍陣ニ用テハヘリヌリノ繪巻物等ニ立烏帽子ノ如クナルガ後ノ方引立カドヲトガラカシ
タル躰ノ烏帽子ヲカブリタル武者ヲ画キタリ是引立烏帽子ナルベシ東鑑云壽永二年
三月廿八日条本三位中將藍摺直岳云源平盛衰記云屋嶋合戦条黒糸威ノ
鎧ニ冒ラハキズ引立烏帽子ニ長刀ヲ持テ十郎兵衛尉云雲井花云中殿御會赤
松判官光範白直岳香大帷引立烏帽子下部四人召具云長門本平
家物語云緒方三郎事ノ条惟能ハ縁塗ノ烏帽子ニ引柿ノ直岳打ガケ

テ引カタヌイテ弓ノ弦ヲサシツイテ井タル所ヘ伊村歸來ケリ云義貞朝
臣記云鎧可着次第事一采浴衣二番小袖生拾三番大口精四番髮乱縁塗五番
鉢卷白布ハ中畧尺三寸八幡太郎義家被着ケル次第也云文明隨兵日記云ヘリ
ヌリハ出陣ノ時大將又ハ旗サシナド着ベシ同ク鉢卷ヲスベキ也云義尚
公江洲御陣着到次第云長亨元年九月十二日江洲御勤座之御出立事香
之御袷ニ赤地ノ錦桐唐草ノ御鎧直岳ニ御縁塗ニ白綾ノ御腹卷ニ御腰物ハ
厚藤四郎吉光也云諸書當用抄東山殿比之記云陣中ニハサ女烏帽子縁塗ニモタ
スベシ大將モ礼アレハカブリ申也士モ軍使ノ時又礼アレバ可用之甲着ラレス又
大ワラハニモ如何ノ時ハ用之也云此文モミエホシト云ヒ又ヘリヌリト云
フニ品ナル徴トナスベキニヤ

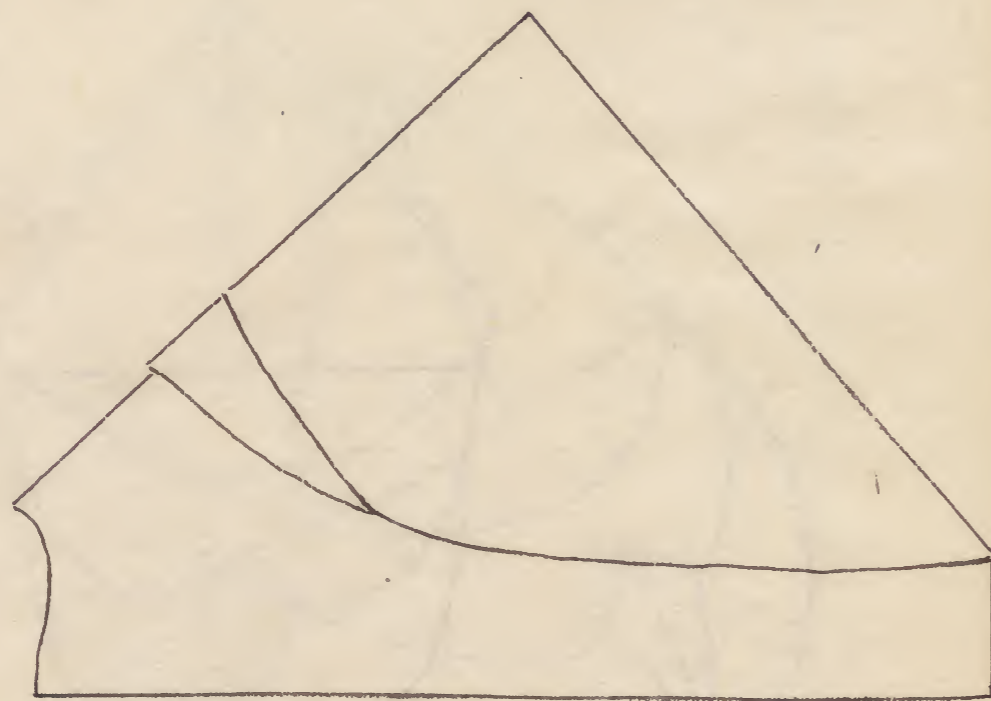
京極折烏帽子圖

伊勢貞春傳來形

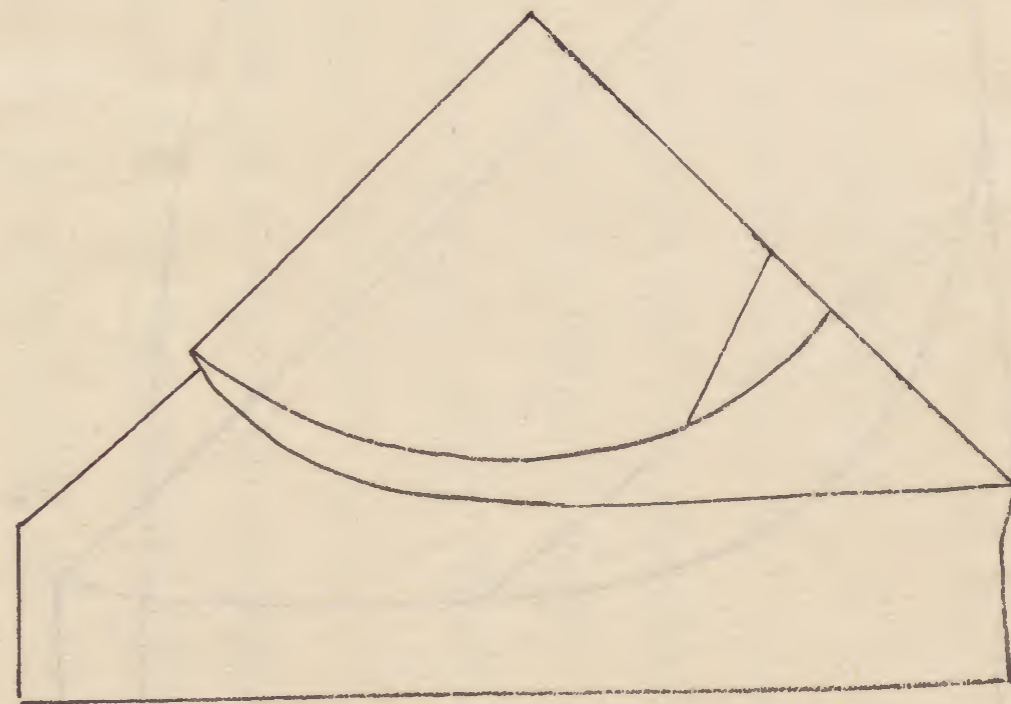
本躰



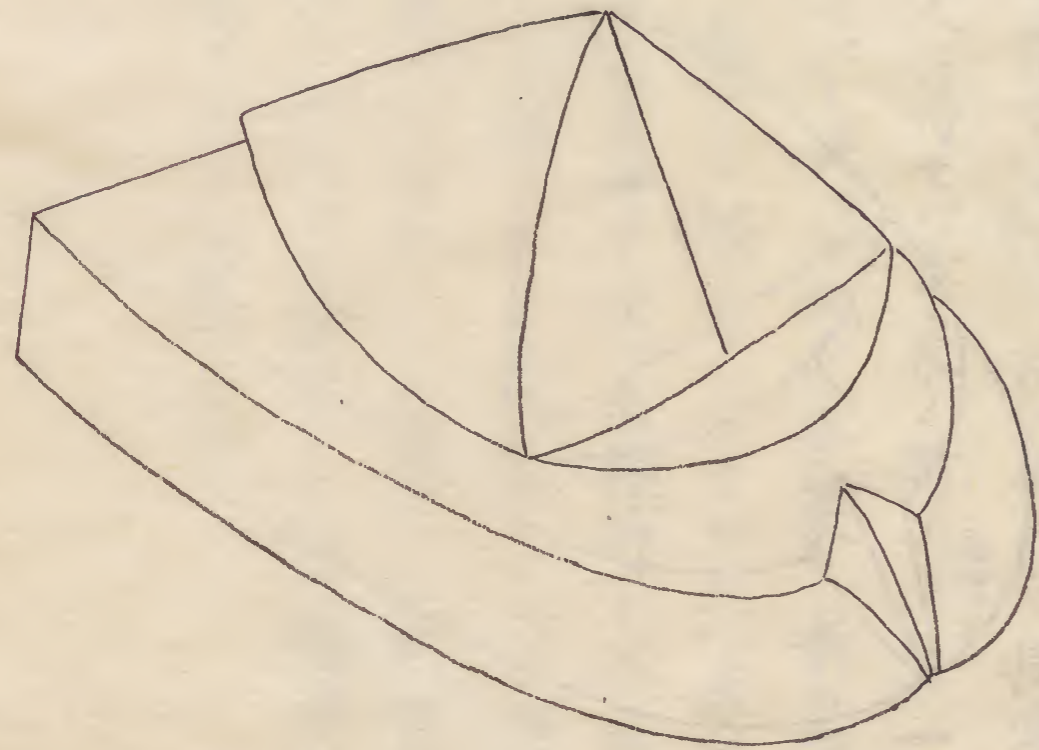
同前
左ノ側



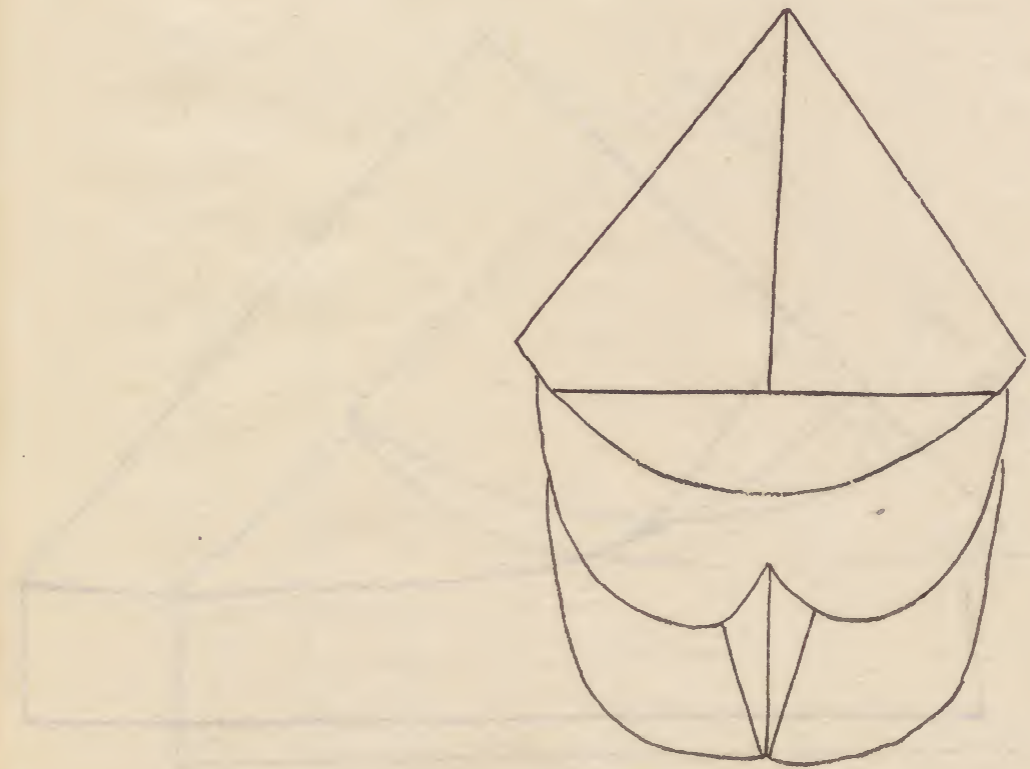
二番
右ニ折ル



同前
右ノ側

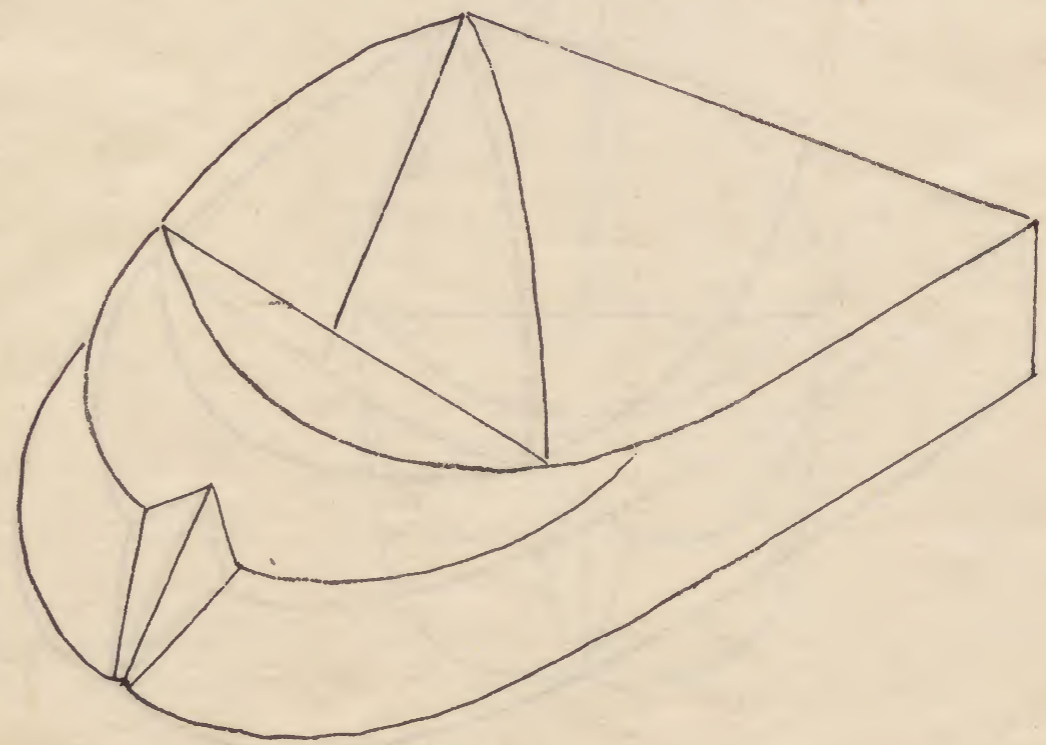


三番
正面ヲ折
成就也



伊勢貞春傳來形京極折烏帽子雛形別ハ古へ用ヒシヲ摸傳ヘシトソ云フ
 文明隨兵日記小笠原元長記云甲ハ役人ニ持セワガ家ノ折烏帽子エホシコユヒナシノヲ著
 ベシ一寸マダラノテウツガケヲスベキ也云云此文吾家ノ折烏帽子トアルヲ
 見レハ古ハ家々ニテ烏帽子ノ折ヤウ替リアルニヤサレバ京極折ト云ヘルモ
 昔佐々木京極家ニテ用ヒシナルガ傳リ世ニ京極折ト云ヒ習セシナルベシ
 古ハ折烏帽子ハヤハラカナリシ故イカニモ折レシナルニヤ横瀬家ニ傳ヘシ
 折烏帽子ハ緋精好ヲ以テ造リクロヌリニシテ折リ新田折ナド稱スルト
 云ヘリ是等モ古ハ折烏帽子ノサマナル物ナランニヤ嶋津折ナド世ニ云ル
 モ昔其家々ニテ折リヤウ替リアリシ故ナルベシ

同前
 左ノ側



Faint vertical text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

庚辰申

日吉坊

